

令和5年度
長 浜 市 民 意 識 調 査
報 告 書

令和5年6月

長 浜 市

目次

1.	調査概要	5
1-1.	調査の目的	5
1-2.	調査の方法	6
1-3.	調査の内容	7
1-4.	調査票の配布及び回収結果	8
2.	調査結果	9
2-1.	回答者の個人属性	9
2-2.	長浜市の「住みやすさ」	13
(1)	長浜市の「住み心地」について	13
(2)	「住み心地」の良さにつながる事	15
(3)	長浜市での居住継続希望の有無	18
(4)	長浜市に住み続けたい理由	20
(5)	長浜市から転居したい理由	24
(6)	長浜市の「良いところ」、「愛着・誇りを感じる場所」	28
2-3.	デジタル化に関して	31
(1)	デジタル技術の活用により期待する分野	31
(2)	デジタル技術が広がることによる不安について	51
2-4.	長浜市の施策（取組）に対する満足度（行政評価）と重要度	56
(1)	5段階評価の結果	56
①	政策分野別の評価	56
②	施策別の評価	57
(2)	満足度・重要度の平均値とニーズ得点	60
(3)	6政策別の平均点とニーズ得点	61
(4)	58施策の満足度・重要度・ニーズ得点	62
①	「政策1 市民・自治」に関する施策（6施策）	64
②	「政策2 教育・文化」に関する施策（10施策）	68
③	「政策3 健康・福祉」に関する施策（15施策）	74
④	「政策4 産業・交流」に関する施策（12施策）	83
⑤	「政策5 安心・安全」に関する施策（4施策）	90
⑥	「政策6 環境・都市」に関する施策（11施策）	93
(5)	58施策の満足度・重要度・ニーズ得点の比較及び経年変化	100
(6)	単純集計（58施策の満足度）	102
(7)	単純集計（58施策の重要度）	108
2-5.	しょうがい福祉に関する意識	114
(1)	ふれあう機会	114
(2)	しょうがい福祉への関心	117
(3)	関心がない理由	119
(4)	暮らしやすさ	122
(5)	暮らしにくい理由	124
2-6.	健康づくりの現状	127
(1)	取り組み状況	127

(2) 市の取り組み.....	134
2-7. スポーツ	137
(1) 運動・スポーツの頻度	137
(2) 運動やスポーツの頻度が低い理由.....	139
(3) 運動やスポーツを行う手段	142
3. 調査票.....	145
.....	

1.調査概要

1-1. 調査の目的

平成 29 年 3 月に策定した「長浜市総合計画」（以下「総合計画」という。）において、10 年後の「めざすまちの姿」を示し、その実現に向けた指針となる「長浜市総合計画」の第 3 期基本計画が令和 5 年度からスタートします。

この基本計画では、『長浜に暮らす若者が、現在も、将来も魅力を感じられるまちを創る』という考え方のもと、まちづくりの重点プロジェクトを定めており、「新たな感性を生かし みんなで未来を創るまち 長浜」の実現を目指しています。

本市が行っている取組（施策）について、市民の皆さまに「満足度」や「重要度」をおたずねするとともに、社会が変わっていく中で、長浜市がこれから進むべき方向についての「ご意見」や「お考え」をお聞きすることで、取組（施策）の評価や見直しを考える上での基礎資料とするために実施するものです。

今回の調査票における総合計画で示された政策・施策の設問構成は以下のとおりである。

表 1-1 総合計画に関連する政策及び施策

(1) 市民・自治
1. 人権を尊重する社会づくり
2. 女性も男性も共に参加する社会づくり
3. 多様な文化が共生する社会づくりと人や文化を通じた国際交流
4. 市民組織や団体などの活動へのサポート
5. 自治会の維持や地域の見守り活動
6. 市民が市政へ参加する機会づくり
(2) 教育・文化
1. 家庭での教育環境の充実
2. 学校での教育環境の充実
3. 地域と学校が連携した教育環境づくり
4. 大学との連携によるまちづくり
5. 子育てや教育について相談する体制
6. 小学校（義務教育学校）に入学するまでの教育の推進
7. 生涯を通じて学習する機会づくり
8. 文化芸術に触れる機会
9. スポーツ活動の推進
10. 青少年が地域の活動に参加する機会
(3) 健康・福祉
1. 家庭や地域が連携した子育て体制づくり
2. 子どもを育てる環境や保育機能の充実
3. 子どもが遊んだり、体験する機会づくり
4. 結婚支援
5. 母子保健と子どもの医療サービス
6. 子育てにかかる経済的な負担の軽減
7. 高齢者の社会参加
8. 高齢者への介護や福祉のサービス
9. しょうがい福祉の充実
10. 国民健康保険の安定した運営
11. 経済的に困っている人への自立支援

12. 健診などを通じた個人の健康づくりの推進
13. 健康を支え守るための環境整備
14. 福祉を担う人材や団体の育成
15. 地域医療体制の充実

(4) 産業・交流
1. 企業や地場産業への支援
2. 農業を持続させていくためのサポート
3. 森林の整備と林業の活性化
4. 鳥獣害の対策
5. 雇用や就労する機会の拡充
6. 企業の誘致
7. 地域の資源を活かした産業の育成
8. 伝統・歴史・文化の継承
9. 美しい景観の保全と創出
10. 移住者を受け入れる環境づくり
11. 市内で宿泊や滞在をする観光の推進
12. 地域が持つ魅力の発信と観光振興
(5) 安心・安全
1. 防犯対策
2. 交通安全対策
3. 災害などに対する危機管理の体制
4. 地域による防災対策へのサポート
(6) 環境・都市
1. 地球温暖化対策
2. 再生可能エネルギーの利活用
3. ごみの減量と不法投棄対策
4. 自然環境の保全と公害の未然防止
5. 緑の確保と公園の整備
6. 移住や定住につながる居住環境の整備づくり
7. 鉄道やバスの利便性
8. 中心市街地の活性化
9. 市内北部地域の活性化
10. 道路・橋・下水道などの整備
11. ICT（情報通信技術）を活用した情報サービスの提供

1-2. 調査の方法

- ①調査期間 令和5年4月26日（水）～5月10日（水）
- ②調査対象者 18歳以上の長浜市民4,000人
- ③対象者の抽出方法 住民基本台帳から各地域の人口の割合に応じて無作為抽出
- ④調査方法 郵送によるアンケートの配布、郵送またはインターネットでの回収

1-3. 調査の内容

表 1-2 主な調査項目

項目	問	設問内容
属性	1	性別
	2	年齢
	3	居住地
	4	職業
	5	長浜市での居住経験
	6	家族形態
	7	居住形態
住みやすさ	1	「住み心地」
	2	「住み心地」につながる要素
	3	今後の定住意向
	4	住み続けたい理由
	5	転居したい理由
	6	長浜市の「良いところ」「愛着・誇りを感じる場所」
デジタル化	1	期待する分野
	2	デジタル化が広がることへの不安
	3	不安を感じる理由
58 施策の満足度・重要度	1	58 施策の満足度
	2	58 施策の重要度
しょうがい福祉	1	ふれあう機会
	2	関心
	3	関心がない理由
	4	暮らしやすさ
	5	暮らしにくい理由
健康づくり	1	取組状況
	2	力を入れるべき環境
スポーツ	1	運動やスポーツの頻度
	2	運動やスポーツの頻度の理由
	3	運動やスポーツの手段

1-4. 調査票の配布及び回収結果

- ①調査票配布枚数 4,000 件
- ②有効回収数及び回収率 1,300 件（回収率 32.5%）

表 1-3 調査票の配布数及び回収件数・回収率

項目	合計
配布数	4,000件
有効回収件数	1,300件
有効回収率	32.5%

2.調査結果

2-1. 回答者の個人属性

①あなたの性別（1つに○）

○ 回答者の性別構成は、「男性」が 43.0%、「女性」が 55.0%であった。

	選択肢	回答数	割合(%)
1	男性	559	43.0
2	女性	715	55.0
3	答えたくない	15	1.2
	不明・無回答	11	0.8
合計		1,300	100.0

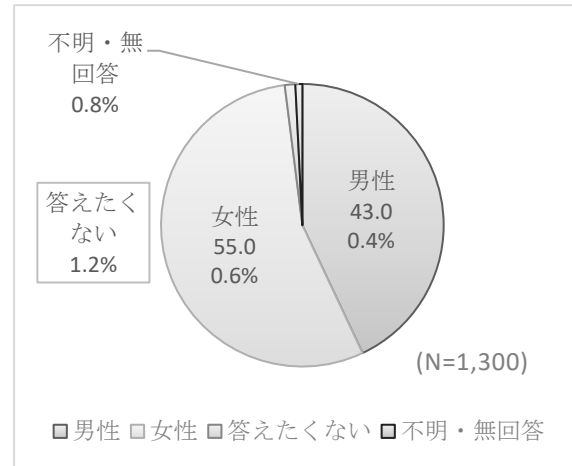


図 2-1 回答者の性別

②あなたの年齢（1つに○）

○ 「30～34歳」が 10.8%と最も多かった。次いで「35～39歳」が10.5%となった。

○ 年代別には「30代」が21.3%、次いで「70代以上」が19.8%となった。

	選択肢	回答数	割合(%)
1	18～24歳	74	5.7
2	25～29歳	125	9.6
3	30～34歳	141	10.8
4	35～39歳	137	10.5
5	40～44歳	77	5.9
6	45～49歳	77	5.9
7	50～54歳	66	5.1
8	55～59歳	100	7.7
9	60～64歳	100	7.7
10	65～69歳	133	10.2
11	70～74歳	135	10.4
12	75歳以上	122	9.4
	不明・無回答	13	1.0
合計		1,300	100.0

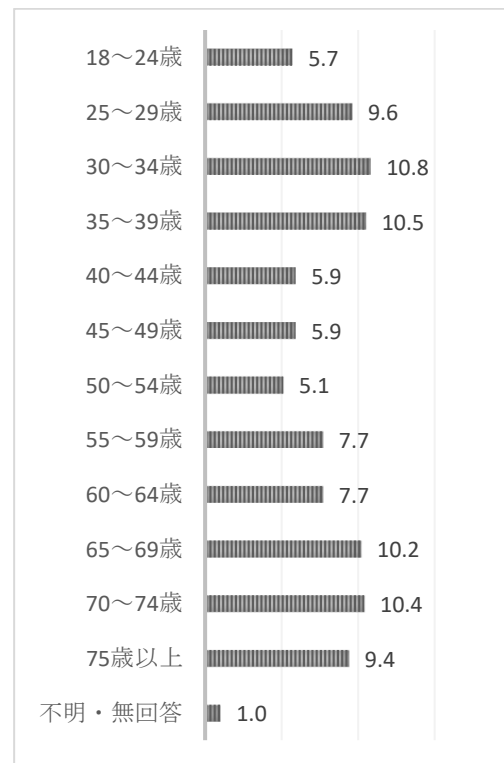


図 2-2 回答者の年齢

③お住まいの地域（1つに○）

○「長浜地域」が52.4%と過半数をしめている。

	選択肢	回答数	割合(%)
1	長浜地域	681	52.4
2	浅井地域	156	12.0
3	びわ地域	67	5.2
4	虎姫地域	28	2.2
5	湖北地域	100	7.7
6	高月地域	101	7.8
7	木之本地域	80	6.2
8	余呉地域	28	2.2
9	西浅井地域	33	2.5
	不明・無回答	26	2.0
合計		1,300	100.0

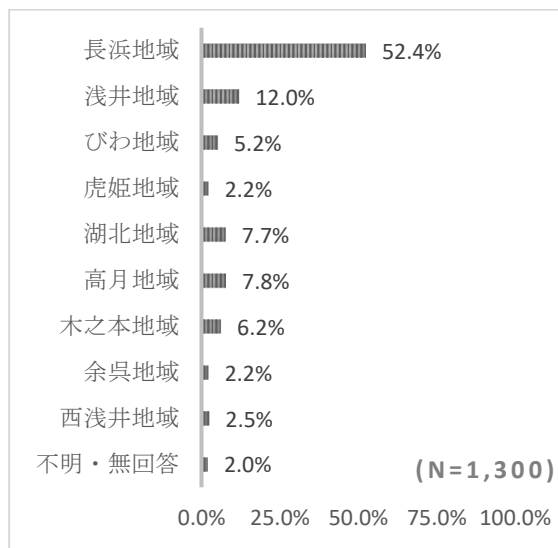


図 2-3 回答者のお住まいの地域

④あなたのご職業（1つに○）

○「会社員・公務員・団体職員」が41.7%で最も多く、次いで「無職」が19.1%、「パート・アルバイト」が16.8%、「家事専業」が9.4%であった。

	選択肢	回答数	割合(%)
1	会社員・公務員・団体職員	542	41.7
2	自営業	53	4.1
3	農林水産業	12	0.9
4	パート・アルバイト	218	16.8
5	学生	33	2.5
6	家事専業	122	9.4
7	無職	248	19.1
8	その他	42	3.2
	不明・無回答	30	2.3
合計		1,300	100.0

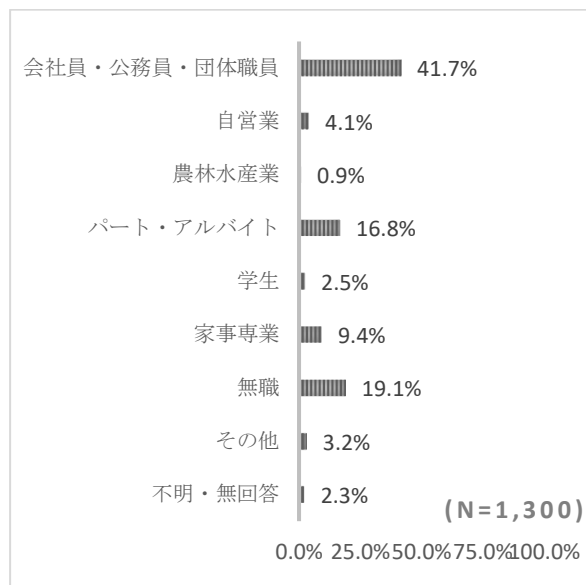


図 2-4 回答者の職業

⑤長浜市にずっとお住まいですか。（1つに○）

○「生まれてからずっと長浜市に住んでいる」が40.8%と最も多かった。

選択肢		回答数	割合(%)
1	生まれてからずっと長浜市に住んでいる	530	40.8
2	進学や仕事などで長浜市以外に住んでいた時期がある	376	28.9
3	市外で生まれて、長浜市に転入してきた	363	27.9
	不明・無回答	31	2.4
合計		1,300	100.0

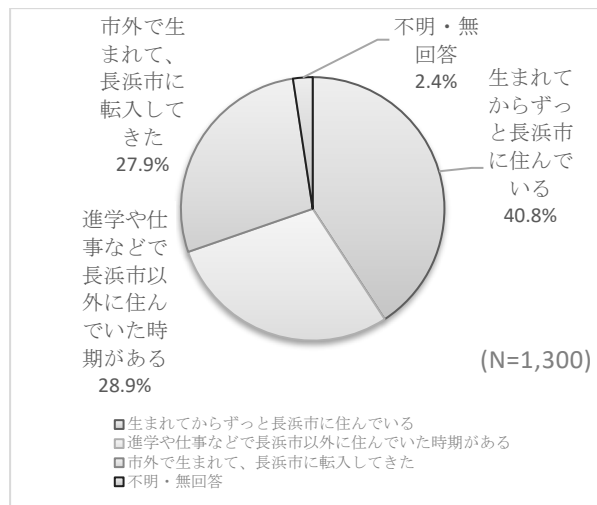


図 2-5 回答者の長浜市の居住歴

⑥ご家族の形態（1つに○）

○「親子（2世代）」が47.2%、「夫婦のみ」が22.0%であった。

選択肢		回答数	割合(%)
1	ひとり暮らし	159	12.2
2	夫婦のみ	286	22.0
3	親子の2世代	614	47.2
4	親・子・孫の3世代	182	14.0
5	その他	49	3.8
	不明・無回答	10	0.8
合計		1,300	100.0

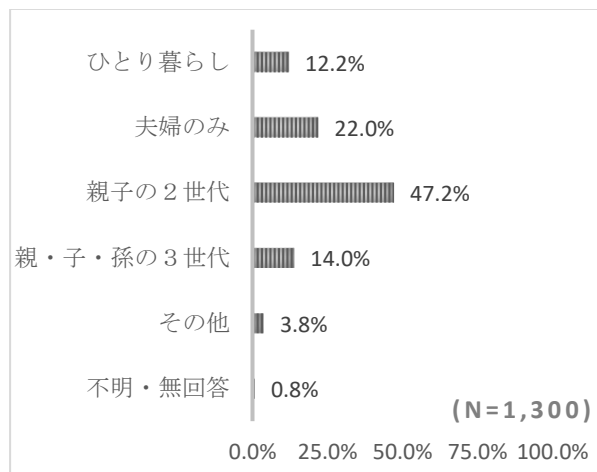


図 2-6 家族形態

⑦あなたのお住まいの種類（1つに○）

○「戸建て住宅」が83.6%と最も多かった。

	選択肢	回答数	割合(%)
1	戸建て住宅	1087	83.6
2	マンション・アパート	170	13.1
3	社宅・寮	13	1.0
4	その他	22	1.7
	不明・無回答	8	0.6
	合計	1,300	100.0

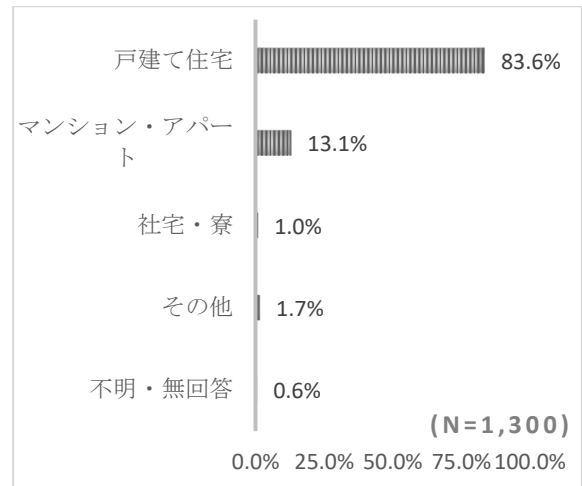


図 2-7 回答者のお住まいの形態

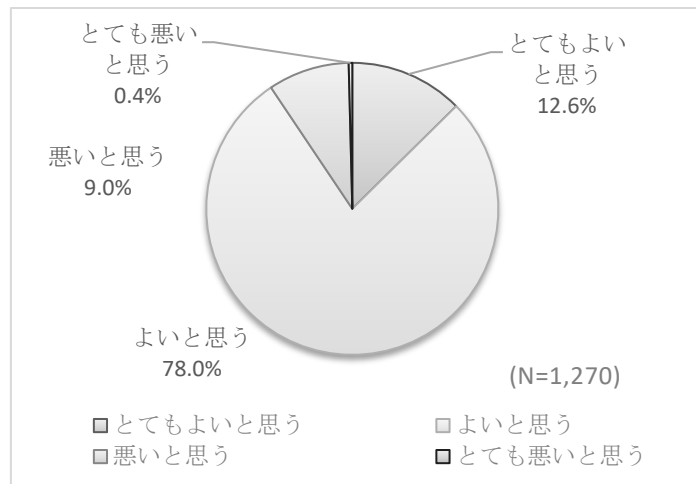
2-2. 長浜市の「住みやすさ」

(1) 長浜市の「住み心地」について

長浜市の「住み心地」についてどう思いますか。

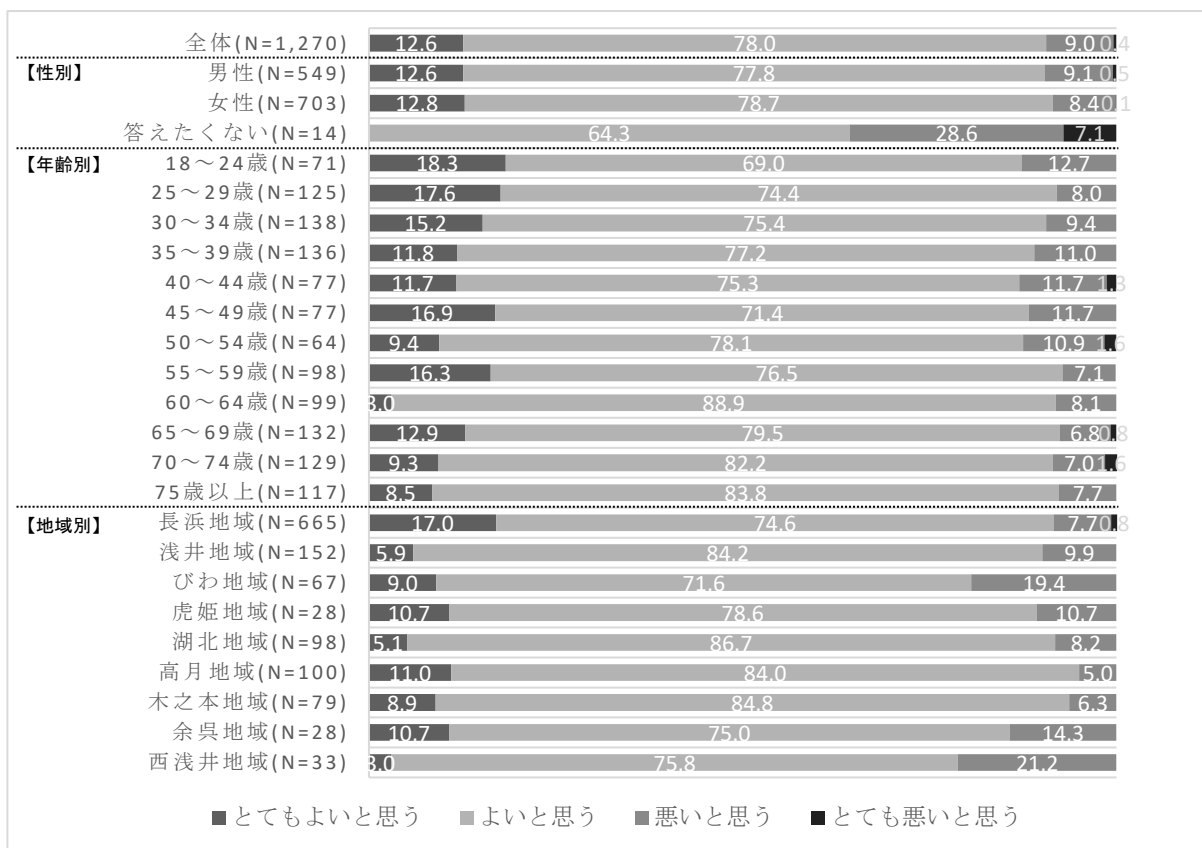
あなた自身の気持ちに最も近いものを次の中から選んでください。(○は1つ)

○「とてもよいと思う」が 12.6%、「よいと思う」が 78.0%であり、『よい』としたのは合計で 90.6%であった。



選択肢		回答数	割合(%)
1	とてもよいと思う	160	12.6
2	よいと思う	991	78.0
3	悪いと思う	114	9.0
4	とても悪いと思う	5	0.4
合計		1,270	100.0

図 2-8 長浜市の「住み心地」



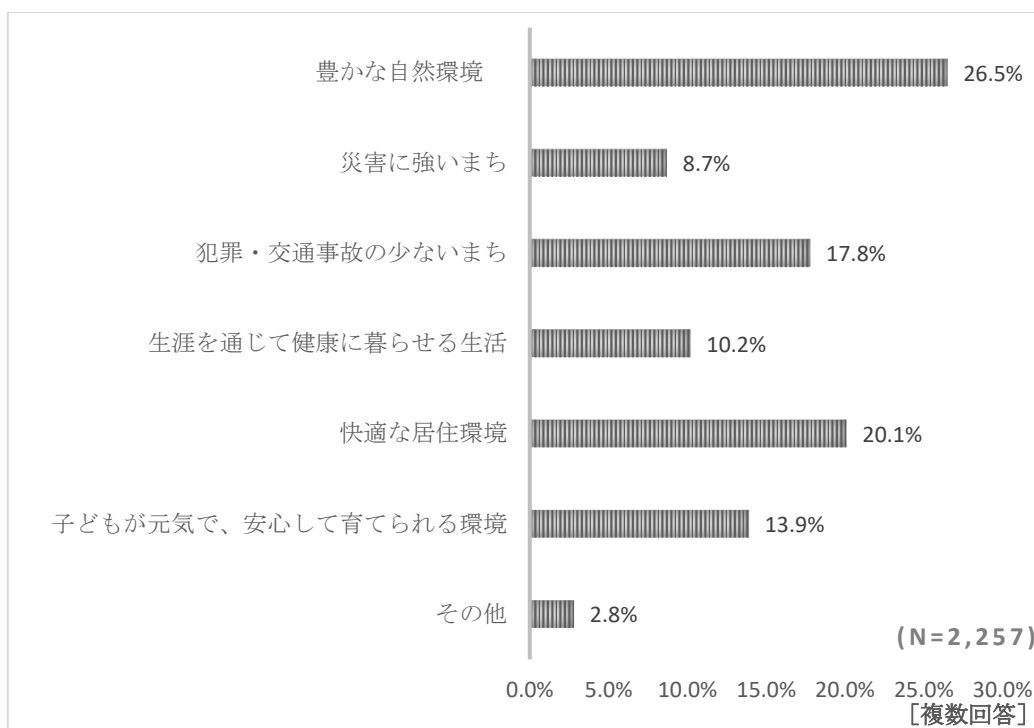
	回答数					構成比(%)					
	とてもよいと思う	よいと思う	悪いと思う	とても悪いと思う	不明・無回答	有効回答数	とてもよいと思う	よいと思う	悪いと思う	とても悪いと思う	
全体	160	991	114	5	1	1,270	12.6	78.0	9.0	0.4	
性別	男性	69	427	50	3	0	549	12.6	77.8	9.1	0.5
	女性	90	553	59	1	0	703	12.8	78.7	8.4	0.1
	答えたくない	0	9	4	1	0	14	0.0	64.3	28.6	7.1
年齢別	18～24歳	13	49	9	0	0	71	18.3	69.0	12.7	0.0
	25～29歳	22	93	10	0	0	125	17.6	74.4	8.0	0.0
	30～34歳	21	104	13	0	0	138	15.2	75.4	9.4	0.0
	35～39歳	16	105	15	0	0	136	11.8	77.2	11.0	0.0
	40～44歳	9	58	9	1	0	77	11.7	75.3	11.7	1.3
	45～49歳	13	55	9	0	0	77	16.9	71.4	11.7	0.0
	50～54歳	6	50	7	1	0	64	9.4	78.1	10.9	1.6
	55～59歳	16	75	7	0	0	98	16.3	76.5	7.1	0.0
	60～64歳	3	88	8	0	0	99	3.0	88.9	8.1	0.0
	65～69歳	17	105	9	1	0	132	12.9	79.5	6.8	0.8
70～74歳	12	106	9	2	0	129	9.3	82.2	7.0	1.6	
75歳以上	10	98	9	0	0	117	8.5	83.8	7.7	0.0	
地域別	長浜地域	113	496	51	5	0	665	17.0	74.6	7.7	0.8
	浅井地域	9	128	15	0	0	152	5.9	84.2	9.9	0.0
	びわ地域	6	48	13	0	0	67	9.0	71.6	19.4	0.0
	虎姫地域	3	22	3	0	0	28	10.7	78.6	10.7	0.0
	湖北地域	5	85	8	0	0	98	5.1	86.7	8.2	0.0
	高月地域	11	84	5	0	0	100	11.0	84.0	5.0	0.0
	木之本地域	7	67	5	0	0	79	8.9	84.8	6.3	0.0
	余呉地域	3	21	4	0	0	28	10.7	75.0	14.3	0.0
	西浅井地域	1	25	7	0	0	33	3.0	75.8	21.2	0.0

図 2-9 長浜市の「住み心地」

(2) 「住み心地」の良さにつながること

あなたにとって「住み心地」の良さにつながるのは、どのようなことですか。
次の中から選んでください。（○は2つまで）

○ 上位から順に「豊かな自然環境」が 26.5%、「快適な居住環境」が 20.1%、「犯罪・交通事故の少ないまち」が 17.8%、「子どもが元気で、安心して育てられる環境」が 13.9%であった。



	選択肢	回答数	割合(%)
1	豊かな自然環境	599	26.5
2	災害に強いまち	196	8.7
3	犯罪・交通事故の少ないまち	402	17.8
4	生涯を通じて健康に暮らせる生活	230	10.2
5	快適な居住環境	453	20.1
6	子どもが元気で、安心して育てられる環境	313	13.9
7	その他	64	2.8

図 2-10 「住み心地」の良さにつながること

「その他」の回答

生活必需品が近場でそろふこと
若者や今後長く長浜で生活する人のためになる政策や活動を実施すること
税が適正に使われていること 有権者の考え方や要望が市政に反映されること
自転車で動きやすい
昔ながらのお互い様で助け合い協力し合える地域とのつながりがあること。見捨てられない社会
交通の便が良い
地域コミュニティがしっかりしている
買い物、病院等近くにあるため
生涯を通じて安心して暮らせる生活
雪対策 交通対策
仕事・子育てがしやすい街
図書館が充実している
道路が広い
歴史・伝統に裏付けられた重圧感
心が虚無にならない程度の娯楽、商業、文化施設がある。
補助金がある町
ほどほどの人情、近所付き合い
子どもの安全 犯罪から防げる町
バス以外の乗り合い車を出してほしい
静穏な環境
人口がちょうどいい
障害福祉の充実
子ども、高齢者にとってよい支援がある
歴史文化の豊かな町
自治体がしっかりしてルールを守れる環境
行政機関の怠惰がなく、どのような環境に置かれていても取り残されない温かい人が多い町
充実した商業施設
市内にスーパーや病院などがある
働く場所が多くあること
地域の良さ、コミュニケーション豊かさが大切
福祉の高い水準
就業先があり、安定した生活が送れる地域
適度に田舎
見た目がスッキリしていて街並みがいい
住人の知能指数が近いこと。法を遵守できるだけの理解力を持っている人間が同じコミュニティに属していること。

		回答数							構成比(%)							
		豊かな自然環境	災害に強いまち	犯罪・交通事故の少ないまち	生涯を通じて健康に暮らせる生活	快適な居住環境	子どもが元気で、安心して育てられる環境	その他	有効回答数	豊かな自然環境	災害に強いまち	犯罪・交通事故の少ないまち	生涯を通じて健康に暮らせる生活	快適な居住環境	子どもが元気で、安心して育てられる環境	その他
【性別】	全体(N=2,257)	29.1	9.5	19.5	1.6	22	15.2	3.1								
	男性(N=970)	29.8	9.2	21.2	1.6	22	13.1	3.1								
	女性(N=1,250)	28.5	9.8	18.4	1.7	21.7	17.2	2.8								
	答えたくない(N=27)	32.0	4.0	16.0		28	4	16								
【年齢別】	18～24歳(N=124)	26.2	4.9	19.7	2.5	30.3	12.3	4.1								
	25～29歳(N=216)	23.6	9.1	21.2	2.9	25	14.9	3.4								
	30～34歳(N=252)	18.9	5.8	17.3	2.1	23.5	29.2	3.3								
	35～39歳(N=246)	22.1	6.5	14.3	3.0	22.1	27.3	4.8								
	40～44歳(N=137)	28.7	1.6	22.5		19.4	27.1	0.8								
	45～49歳(N=135)	18.3	9.5	27.0	1.6	22.2	17.5	4								
	50～54歳(N=108)	26.7	8.9	24.8	2.0	22.8	7.9	6.9								
	55～59歳(N=166)	29.3	12.1	22.9	1.3	21.7	8.9	3.8								
	60～64歳(N=171)	33.1	10.8	16.9	0.7	25.7	10.1	2.7								
	65～69歳(N=234)	37.9	10.4	18.5	1.9	21.8	7.1	2.4								
	70～74歳(N=239)	39.7		17.5		17.0	0.5	17								
75歳以上(N=218)	43.6		15.1		20.7	15.1	50.6									
【地域別】	長浜地域(N=1,175)	26.0	9.0	19.7	1.6	25.6	15.6	2.6								
	浅井地域(N=273)	29.4		12.1		20.2	2.4	19.4								
	びわ地域(N=120)	25.7	9.5	20.0	3.8	18.1	20	2.9								
	虎姫地域(N=52)	37.8		4.4		17.8	2.2	24.4								
	湖北地域(N=171)	28.8	10.3	19.9	1.9	15.4	19.9	3.8								
	高月地域(N=175)	35.4	11.6	17.7		20.1	13.4	1.8								
	木之本地域(N=147)	38.2		12.2		16.0	0.8	20.6								
	余呉地域(N=50)	42.9				24.5	2.0	10.2								
	西浅井地域	20	4	13	2	5	11	5	60	34.5	6.9	22.4	0.0	8.6	19.0	8.6

- 豊かな自然環境
- 災害に強いまち
- 生涯を通じて健康に暮らせる生活
- 子どもが元気で、安心して育てられる環境
- 犯罪・交通事故の少ないまち
- 快適な居住環境
- その他

		回答数							構成比(%)							
		豊かな自然環境	災害に強いまち	犯罪・交通事故の少ないまち	生涯を通じて健康に暮らせる生活	快適な居住環境	子どもが元気で、安心して育てられる環境	その他	有効回答数	豊かな自然環境	災害に強いまち	犯罪・交通事故の少ないまち	生涯を通じて健康に暮らせる生活	快適な居住環境	子どもが元気で、安心して育てられる環境	その他
全体		599	196	402	230	453	313	64	2,257	29.1	9.5	19.5	1.6	22.0	15.2	3.1
性別	男性	262	81	186	106	193	115	27	970	29.8	9.2	21.2	1.6	22.0	13.1	3.1
	女性	327	112	211	122	249	197	32	1,250	28.5	9.8	18.4	1.7	21.7	17.2	2.8
	答えたくない	8	1	4	2	7	1	4	27	32.0	4.0	16.0	0.0	28.0	4.0	16.0
年齢別	18～24歳	32	6	24	5	37	15	5	124	26.2	4.9	19.7	2.5	30.3	12.3	4.1
	25～29歳	49	19	44	14	52	31	7	216	23.6	9.1	21.2	2.9	25.0	14.9	3.4
	30～34歳	46	14	42	14	57	71	8	252	18.9	5.8	17.3	2.1	23.5	29.2	3.3
	35～39歳	51	15	33	22	51	63	11	246	22.1	6.5	14.3	3.0	22.1	27.3	4.8
	40～44歳	37	2	29	8	25	35	1	137	28.7	1.6	22.5	0.0	19.4	27.1	0.8
	45～49歳	23	12	34	11	28	22	5	135	18.3	9.5	27.0	1.6	22.2	17.5	4.0
	50～54歳	27	9	25	9	23	8	7	108	26.7	8.9	24.8	2.0	22.8	7.9	6.9
	55～59歳	46	19	36	11	34	14	6	166	29.3	12.1	22.9	1.3	21.7	8.9	3.8
	60～64歳	49	16	25	24	38	15	4	171	33.1	10.8	16.9	0.7	25.7	10.1	2.7
	65～69歳	80	22	39	27	46	15	5	234	37.9	10.4	18.5	1.9	21.8	7.1	2.4
70～74歳	77	34	33	46	33	12	4	239	39.7	17.5	17.0	0.5	17.0	6.2	2.1	
75歳以上	78	27	37	39	27	9	1	218	43.6	15.1	20.7	0.0	15.1	5.0	0.6	
地域別	長浜地域	278	96	211	121	274	167	28	1,175	26.0	9.0	19.7	1.6	25.6	15.6	2.6
	浅井地域	73	30	50	31	48	32	9	273	29.4	12.1	20.2	2.4	19.4	12.9	3.6
	びわ地域	27	10	21	19	19	21	3	120	25.7	9.5	20.0	3.8	18.1	20.0	2.9
	虎姫地域	17	2	8	8	11	5	1	52	37.8	4.4	17.8	2.2	24.4	11.1	2.2
	湖北地域	45	16	31	18	24	31	6	171	28.8	10.3	19.9	1.9	15.4	19.9	3.8
	高月地域	58	19	29	11	33	22	3	175	35.4	11.6	17.7		20.1	13.4	1.8
	木之本地域	50	16	21	17	27	11	5	147	38.2	12.2	16.0	0.8	20.6	8.4	3.8
	余呉地域	21	0	12	2	5	9	1	50	42.9	0.0	24.5	2.0	10.2	18.4	2.0
	西浅井地域	20	4	13	2	5	11	5	60	34.5	6.9	22.4	0.0	8.6	19.0	8.6

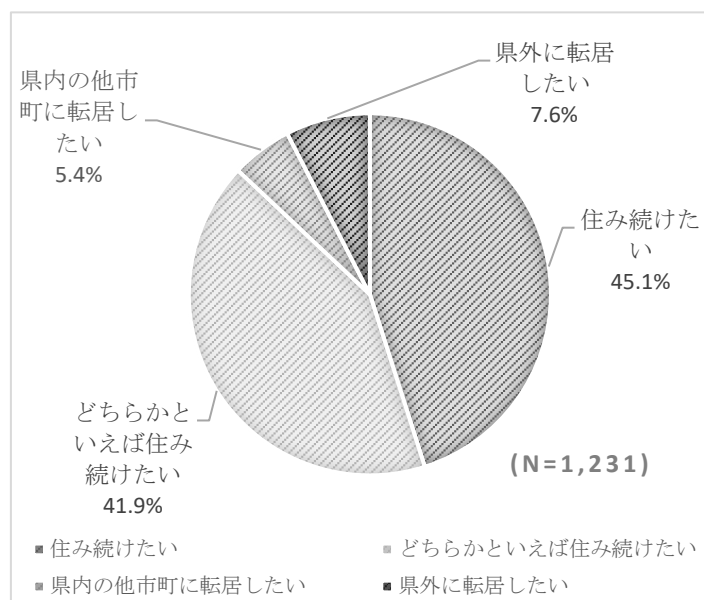
図 2-11 「住み心地」の良さにつながること

(3) 長浜市での居住継続希望の有無

長浜市にこれからも住み続けたいと思いますか。

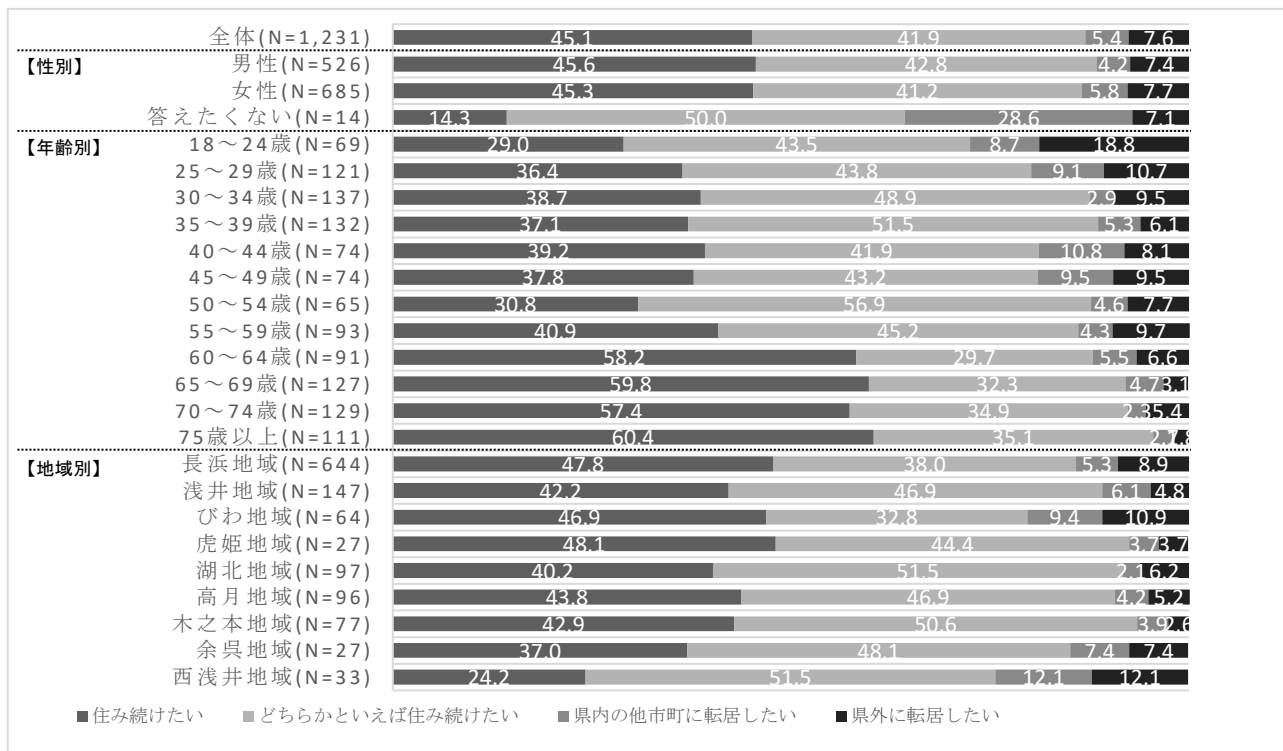
あなた自身の気持ちに最も近いものを次の中から選んでください。(○は1つ)

- 「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」の合計が 87.0%と大半を占め、「県内の他市町に転居したい」「県外に転居したい」の合計は 13.0%と低かった。



選択肢		回答数	割合(%)
1	住み続けたい	555	45.1
2	どちらかといえば住み続けたい	516	41.9
3	県内の他市町に転居したい	67	5.4
4	県外に転居したい	93	7.6
合計		1,231	100.0

図 2-12 長浜市での居住継続希望



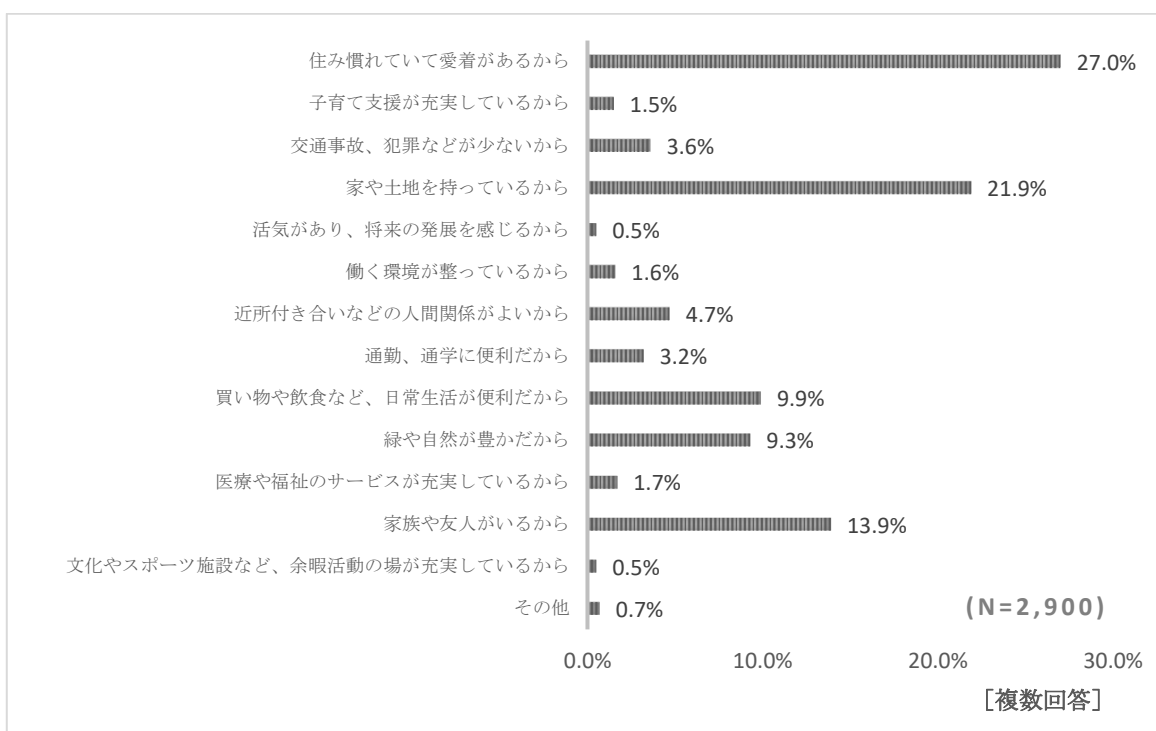
		回答数					有効回答数	構成比(%)			
		住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	県内の他市町に転居したい	県外に転居したい	不明・無回答		住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	県内の他市町に転居したい	県外に転居したい
全体		555	516	67	93		1,231	45.1	41.9	5.4	7.6
性別	男性	240	225	22	39		526	45.6	42.8	4.2	7.4
	女性	310	282	40	53		685	45.3	41.2	5.8	7.7
	答えたくない	2	7	4	1		14	14.3	50.0	28.6	7.1
年齢別	18～24歳	20	30	6	13		69	29.0	43.5	8.7	18.8
	25～29歳	44	53	11	13		121	36.4	43.8	9.1	10.7
	30～34歳	53	67	4	13		137	38.7	48.9	2.9	9.5
	35～39歳	49	68	7	8		132	37.1	51.5	5.3	6.1
	40～44歳	29	31	8	6		74	39.2	41.9	10.8	8.1
	45～49歳	28	32	7	7		74	37.8	43.2	9.5	9.5
	50～54歳	20	37	3	5		65	30.8	56.9	4.6	7.7
	55～59歳	38	42	4	9		93	40.9	45.2	4.3	9.7
	60～64歳	53	27	5	6		91	58.2	29.7	5.5	6.6
	65～69歳	76	41	6	4		127	59.8	32.3	4.7	3.1
	70～74歳	74	45	3	7		129	57.4	34.9	2.3	5.4
75歳以上	67	39	3	2		111	60.4	35.1	2.7	1.8	
地域別	長浜地域	308	245	34	57		644	47.8	38.0	5.3	8.9
	浅井地域	62	69	9	7		147	42.2	46.9	6.1	4.8
	びわ地域	30	21	6	7		64	46.9	32.8	9.4	10.9
	虎姫地域	13	12	1	1		27	48.1	44.4	3.7	3.7
	湖北地域	39	50	2	6		97	40.2	51.5	2.1	6.2
	高月地域	42	45	4	5		96	43.8	46.9	4.2	5.2
	木之本地域	33	39	3	2		77	42.9	50.6	3.9	2.6
	余呉地域	10	13	2	2		27	37.0	48.1	7.4	7.4
	西浅井地域	8	17	4	4		33	24.2	51.5	12.1	12.1

図 2-13 長浜市での居住継続希望

(4) 長浜市に住み続けたい理由

問3で、住み続けたい・どちらかといえば住み続けたいと答えられた方におうかがいします。それはなぜですか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

- 「住み慣れていて愛着があるから」が 27.0%、「家や土地を持っているから」が 21.9%
「家族や友人がいるから」が 13.9%であった。
- 「文化やスポーツ施設など、余暇活動の場が充実しているから」が 0.5%、「活気があり、将来の発展を感じるから」が 0.5%と低かった。

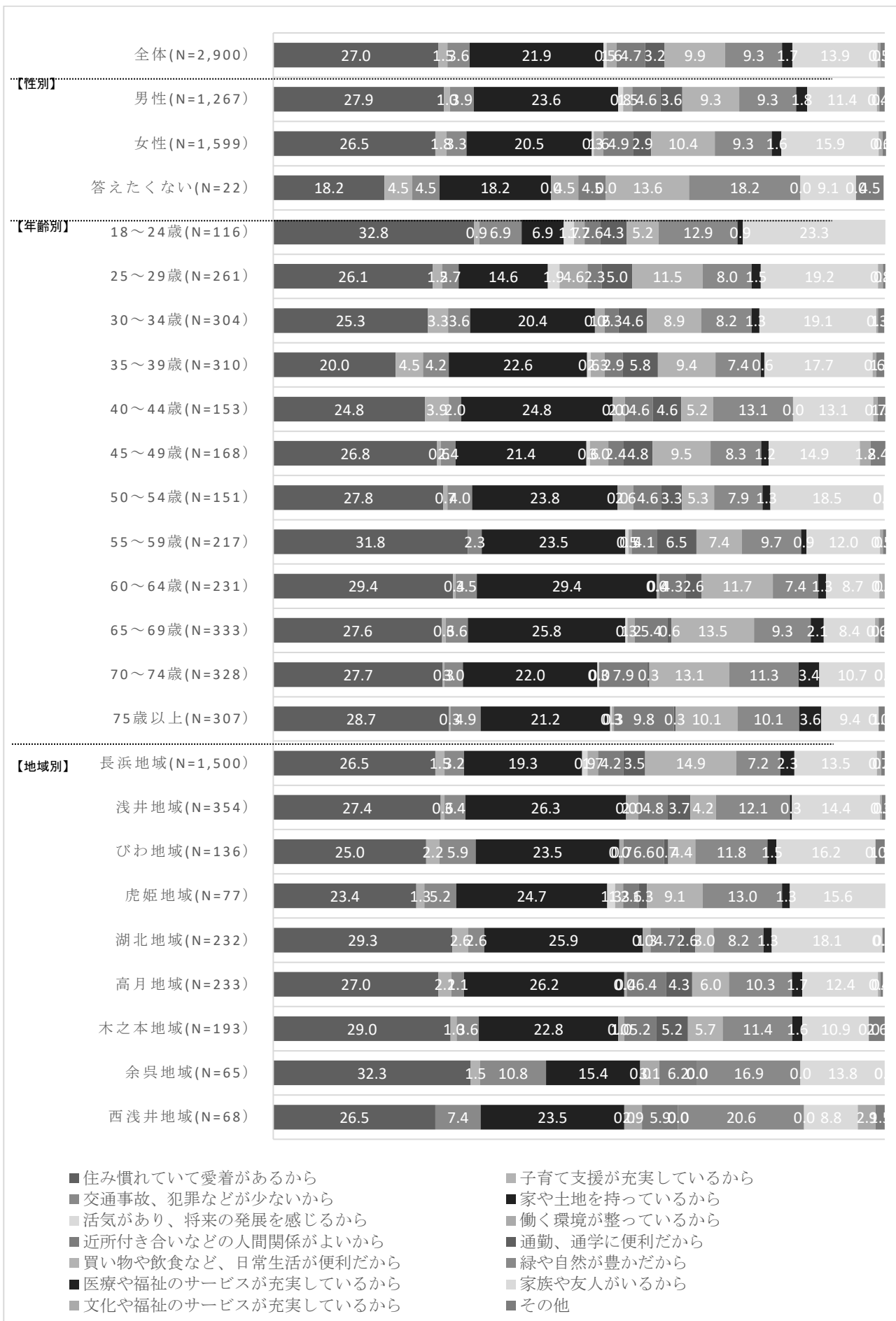


選択肢		回答数	割合(%)
1	住み慣れていて愛着があるから	784	27.0
2	子育て支援が充実しているから	43	1.5
3	交通事故、犯罪などが少ないから	103	3.6
4	家や土地を持っているから	634	21.9
5	活気があり、将来の発展を感じるから	14	0.5
6	働く環境が整っているから	45	1.6
7	近所付き合いなどの人間関係がよいから	137	4.7
8	通勤、通学に便利だから	94	3.2
9	買い物や飲食など、日常生活が便利だから	287	9.9
10	緑や自然が豊かだから	271	9.3
11	医療や福祉のサービスが充実しているから	49	1.7
12	家族や友人がいるから	404	13.9
13	文化やスポーツ施設など、余暇活動の場が充実しているから	14	0.5
14	その他	21	0.7

図 2-14 長浜市に住み続けたい理由

「その他」の回答

他に行くところも帰るところもない為
生活をしていて不自由を感じないから
他県に親戚があるので行きたい
自然環境、人、周りに困らない程度の店がそろってる
仕方なく親から継いでいる形
車が横断歩道はとまらない。スピード出しすぎ。子どもがいるのでとても怖い
親・兄弟が近くに住んでるので
どこに行くにも便利だから
夫の生まれ育った町
災害が少ない
豊かな自然の生活にするのはいい街
仕事があるから



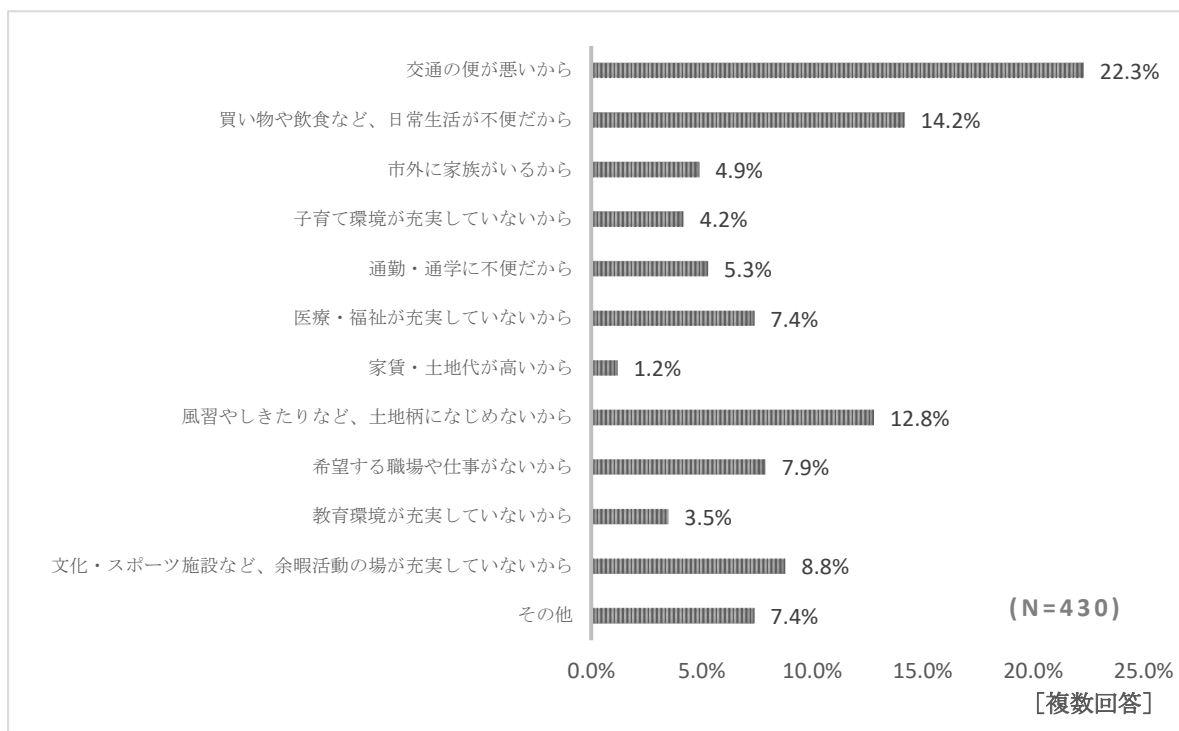
		回答数														
		住み慣 れてい て変 者 が あ る か ら	子育 て支 援が 充 実 し て い る か ら	交通 事 故、 犯 罪 な ど が 少 ない か ら	家や 土 地を 持っ てい るか ら	活気 があ り、 将 来 の 発 展 を 感 じ る か ら	働 く 環 境 が 整 っ て い る か ら	近 所 付 き 合 い な ど の 人 間 関 係 が よ い か ら	通 勤、 通 学 に 便 利 だ か ら	買 い 物 や 飲 食 な ど、 日 常 生 活 が 便 利 だ か ら	緑 や 自 然 が 豊 か た か ら	医 療 や 福 祉 の サ ー ビ ス が 充 実 し て い る か ら	家 族 や 友 人 が い る か ら	文 化 や 福 祉 の サ ー ビ ス が 充 実 し て い る か ら	其 他	有 効 回 答 数
全体		784	43	103	634	14	45	137	94	287	271	49	404	14	21	2,900
性別	男性	353	13	49	299	10	19	58	46	118	118	23	145	5	11	1,267
	女性	423	29	53	328	4	25	78	46	166	148	26	255	9	9	1,599
	答えたくない	4	1	1	4	0	1	1	0	3	4	0	2	0	1	22
年齢別	18～24歳	38	1	8	8	2	2	3	5	6	15	1	27	0	0	116
	25～29歳	68	4	7	38	5	12	6	13	30	21	4	50	2	1	261
	30～34歳	77	10	11	62	0	5	7	14	27	25	4	58	1	3	304
	35～39歳	62	14	13	70	2	7	9	18	29	23	2	55	2	4	310
	40～44歳	38	6	3	38	0	3	7	7	8	20	0	20	1	2	153
	45～49歳	45	1	4	36	1	5	4	8	16	14	2	25	3	4	168
	50～54歳	42	1	6	36	0	4	7	5	8	12	2	28	0	0	151
	55～59歳	69	0	5	51	1	1	9	14	16	21	2	26	1	1	217
	60～64歳	68	1	8	68	0	1	10	6	27	17	3	20	2	0	231
	65～69歳	92	2	12	86	1	4	18	2	45	31	7	28	2	3	333
	70～74歳	91	1	10	72	1	0	26	1	43	37	11	35	0	0	328
75歳以上	88	1	15	65	1	1	30	1	31	31	11	29	0	3	307	
地域別	長浜地域	398	23	48	290	13	26	63	53	223	108	34	202	10	9	1,500
	浅井地域	97	2	12	93	0	7	17	13	15	43	1	51	1	2	354
	びわ地域	34	3	8	32	0	1	9	1	6	16	2	22	0	2	136
	虎姫地域	18	1	4	19	1	1	2	1	7	10	1	12	0	0	77
	湖北地域	68	6	6	60	0	3	11	6	7	19	3	42	0	1	232
	高月地域	63	5	5	61	0	1	15	10	14	24	4	29	1	1	233
	木之本地域	56	2	7	44	0	2	10	10	11	22	3	21	0	5	193
	余呉地域	21	1	7	10	0	2	4	0	0	11	0	9	0	0	65
	西浅井地域	18	0	5	16	0	2	4	0	0	14	0	6	2	1	68
		構成比(%)														
		住み慣 れてい て変 者 が あ る か ら	子育 て支 援が 充 実 し て い る か ら	交通 事 故、 犯 罪 な ど が 少 ない か ら	家や 土 地を 持っ てい るか ら	活気 があ り、 将 来 の 発 展 を 感 じ る か ら	働 く 環 境 が 整 っ て い る か ら	近 所 付 き 合 い な ど の 人 間 関 係 が よ い か ら	通 勤、 通 学 に 便 利 だ か ら	買 い 物 や 飲 食 な ど、 日 常 生 活 が 便 利 だ か ら	緑 や 自 然 が 豊 か た か ら	医 療 や 福 祉 の サ ー ビ ス が 充 実 し て い る か ら	家 族 や 友 人 が い る か ら	文 化 や 福 祉 の サ ー ビ ス が 充 実 し て い る か ら	其 他	
全体		27.0	1.5	3.6	21.9	0.5	1.6	4.7	3.2	9.9	9.3	1.7	13.9	0.5	0.7	
性別	男性	27.9	1.0	3.9	23.6	0.8	1.5	4.6	3.6	9.3	9.3	1.8	11.4	0.4	0.9	
	女性	26.5	1.8	3.3	20.5	0.3	1.6	4.9	2.9	10.4	9.3	1.6	15.9	0.6	0.6	
	答えたくない	18.2	4.5	4.5	18.2	0.0	4.5	4.5	0.0	13.6	18.2	0.0	9.1	0.0	4.5	
年齢別	18～24歳	32.8	0.9	6.9	6.9	1.7	1.7	2.6	4.3	5.2	12.9	0.9	23.3	0.0	0.0	
	25～29歳	26.1	1.5	2.7	14.6	1.9	4.6	2.3	5.0	11.5	8.0	1.5	19.2	0.8	0.4	
	30～34歳	25.3	3.3	3.6	20.4	0.0	1.6	2.3	4.6	8.9	8.2	1.3	19.1	0.3	1.0	
	35～39歳	20.0	4.5	4.2	22.6	0.6	2.3	2.9	5.8	9.4	7.4	0.6	17.7	0.6	1.3	
	40～44歳	24.8	3.9	2.0	24.8	0.0	2.0	4.6	4.6	5.2	13.1	0.0	13.1	0.7	1.3	
	45～49歳	26.8	0.6	2.4	21.4	0.6	3.0	2.4	4.8	9.5	8.3	1.2	14.9	1.8	2.4	
	50～54歳	27.8	0.7	4.0	23.8	0.0	2.6	4.6	3.3	5.3	7.9	1.3	18.5	0.0	0.0	
	55～59歳	31.8	0.0	2.3	23.5	0.5	0.5	4.1	6.5	7.4	9.7	0.9	12.0	0.5	0.5	
	60～64歳	29.4	0.4	3.5	29.4	0.0	0.4	4.3	2.6	11.7	7.4	1.3	8.7	0.9	0.0	
	65～69歳	27.6	0.6	3.6	25.8	0.3	1.2	5.4	0.6	13.5	9.3	2.1	8.4	0.6	0.9	
	70～74歳	27.7	0.3	3.0	22.0	0.3	0.0	7.9	0.3	13.1	11.3	3.4	10.7	0.0	0.0	
75歳以上	28.7	0.3	4.9	21.2	0.3	0.3	9.8	0.3	10.1	10.1	3.6	9.4	0.0	1.0		
地域別	長浜地域	26.5	1.5	3.2	19.3	0.9	1.7	4.2	3.5	14.9	7.2	2.3	13.5	0.7	0.6	
	浅井地域	27.4	0.6	3.4	26.3	0.0	2.0	4.8	3.7	4.2	12.1	0.3	14.4	0.3	0.6	
	びわ地域	25.0	2.2	5.9	23.5	0.0	0.7	6.6	0.7	4.4	11.8	1.5	16.2	0.0	1.5	
	虎姫地域	23.4	1.3	5.2	24.7	1.3	1.3	2.6	1.3	9.1	13.0	1.3	15.6	0.0	0.0	
	湖北地域	29.3	2.6	2.6	25.9	0.0	1.3	4.7	2.6	3.0	8.2	1.3	18.1	0.0	0.4	
	高月地域	27.0	2.1	2.1	26.2	0.0	0.4	6.4	4.3	6.0	10.3	1.7	12.4	0.4	0.4	
	木之本地域	29.0	1.0	3.6	22.8	0.0	1.0	5.2	5.2	5.7	11.4	1.6	10.9	0.0	2.6	
	余呉地域	32.3	1.5	10.8	15.4	0.0	3.1	6.2	0.0	0.0	16.9	0.0	13.8	0.0	0.0	
	西浅井地域	26.5	0.0	7.4	23.5	0.0	2.9	5.9	0.0	0.0	20.6	0.0	8.8	2.9	1.5	

図 2-15 「住み心地」の良さにつながること

(5) 長浜市から転居したい理由

問3で、県内の他市町に転居したい・県外に転居したいと答えられた方におたずねします。
それはなぜですか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

- 「交通の便が悪いから」が 22.3%、「買い物や飲食など、日常生活が不便だから」が 14.2%、「風習やしきたりなど、土地柄になじめないから」が 12.8%であり、この3つが主な理由であった。
- 「教育環境が充実していないから」や「子育て環境が充実していないから」という子育て環境や、「家賃・土地代が高いから」という居住環境に関する項目は比較的低かった。

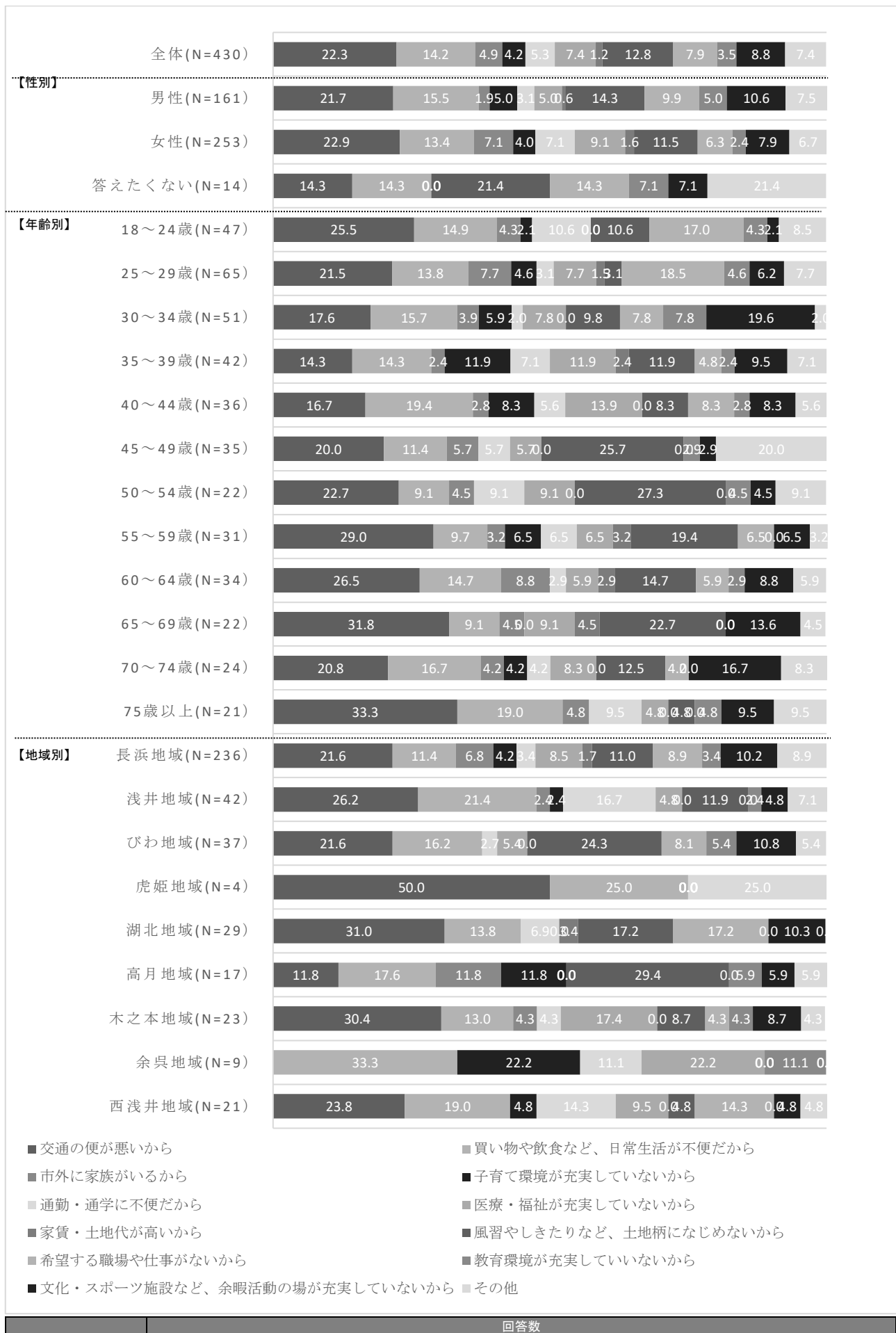


選択肢		回答数	割合(%)
1	交通の便が悪いから	96	22.3
2	買い物や飲食など、日常生活が不便だから	61	14.2
3	市外に家族がいるから	21	4.9
4	子育て環境が充実していないから	18	4.2
5	通勤・通学に不便だから	23	5.3
6	医療・福祉が充実していないから	32	7.4
7	家賃・土地代が高いから	5	1.2
8	風習やしきたりなど、土地柄になじめないから	55	12.8
9	希望する職場や仕事がないから	34	7.9
10	教育環境が充実していないから	15	3.5
11	文化・スポーツ施設など、余暇活動の場が充実していないから	38	8.8
12	その他	32	7.4

図 2-16 長浜市から転居したい理由

「その他」の回答

区費などが高いから
生まれ育ったところに帰りたいから
若い人になって伝統が変わりました。人との顔合わせがない
まわりがうるさいから
自然の多い静かな所に行きたい
子供を育てるとなると、高校・大学に通学できる南の地域が良いと考える。公立高校の選択肢が少ない。
住民税が高い
文化的レベルが低い 美術館映画館がない。交通の便特に電車、バスも
雪が多い
道路が狭いところが多いから
住んでみたい町がある
コロナ対策で補助金が米原市は市として配布されています。それだけでも大きなことだと考えます。
天气が悪い
都会のほうが何かと便利
行政期間の対応が悪すぎる、人柄が大変悪い
モールや安く入れるサウナやお風呂施設がない
県内の他の市や街に行って一人暮らしをしてみたいからです
住民の民度が低いトラブルが絶えない
もっと北部のことを大事にしてほしい
都市機能が劣悪で、交通は個人の自動車にゆだねられ、団体が設置している公共施設がなく、知的活動が妨げられる
文化ホールが遠い
人が少ないから。
除雪されない。駅がない。近隣住民の道路占拠。うるさい。
この街に住み続けたいと思う魅力がない
近くに友達がいらないから



回答数

	交通の便が悪いから	買い物や飲食など、日常生活が不便だから	市外に家族がいるから	子育て環境が充実していないから	通勤・通学に不便だから	医療・福祉が充実していないから	家賃・土地代が高いから	風習やしきたりなど、土地柄になじめないから	希望する職場や仕事がないから	教育環境が充実していないから	文化・スポーツ施設など、余暇活動の場が充実していないから	その他	有効回答数	
全体	96	61	21	18	23	32	5	55	34	15	38	32	430	
性別	男性	35	25	3	8	5	8	1	23	16	8	17	12	161
	女性	58	34	18	10	18	23	4	29	16	6	20	17	253
	答えたくない	2	2	0	0	0	0	0	3	2	1	1	3	14
年齢別	18～24歳	12	7	2	1	5	0	0	5	8	2	1	4	47
	25～29歳	14	9	5	3	2	5	1	2	12	3	4	5	65
	30～34歳	9	8	2	3	1	4	0	5	4	4	10	1	51
	35～39歳	6	6	1	5	3	5	1	5	2	1	4	3	42
	40～44歳	6	7	1	3	2	5	0	3	3	1	3	2	36
	45～49歳	7	4	2	0	2	2	0	9	0	1	1	7	35
	50～54歳	5	2	1	0	2	2	0	6	0	1	1	2	22
	55～59歳	9	3	1	2	2	2	1	6	2	0	2	1	31
	60～64歳	9	5	3	0	1	2	1	5	2	1	3	2	34
	65～69歳	7	2	1	0	0	2	1	5	0	0	3	1	22
	70～74歳	5	4	1	1	1	2	0	3	1	0	4	2	24
75歳以上	7	4	1	0	2	1	0	1	0	1	2	2	21	
地域別	長浜地域	51	27	16	10	8	20	4	26	21	8	24	21	236
	浅井地域	11	9	1	1	7	2	0	5	0	1	2	3	42
	びわ地域	8	6	0	0	1	2	0	9	3	2	4	2	37
	虎姫地域	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	湖北地域	9	4	0	0	2	0	1	5	5	0	3	0	29
	高月地域	2	3	2	2	0	0	0	5	0	1	1	1	17
	木之本地域	7	3	1	0	1	4	0	2	1	1	2	1	23
	余呉地域	0	3	0	2	1	2	0	0	0	1	0	0	9
西浅井地域	5	4	0	1	3	2	0	1	3	0	1	1	21	

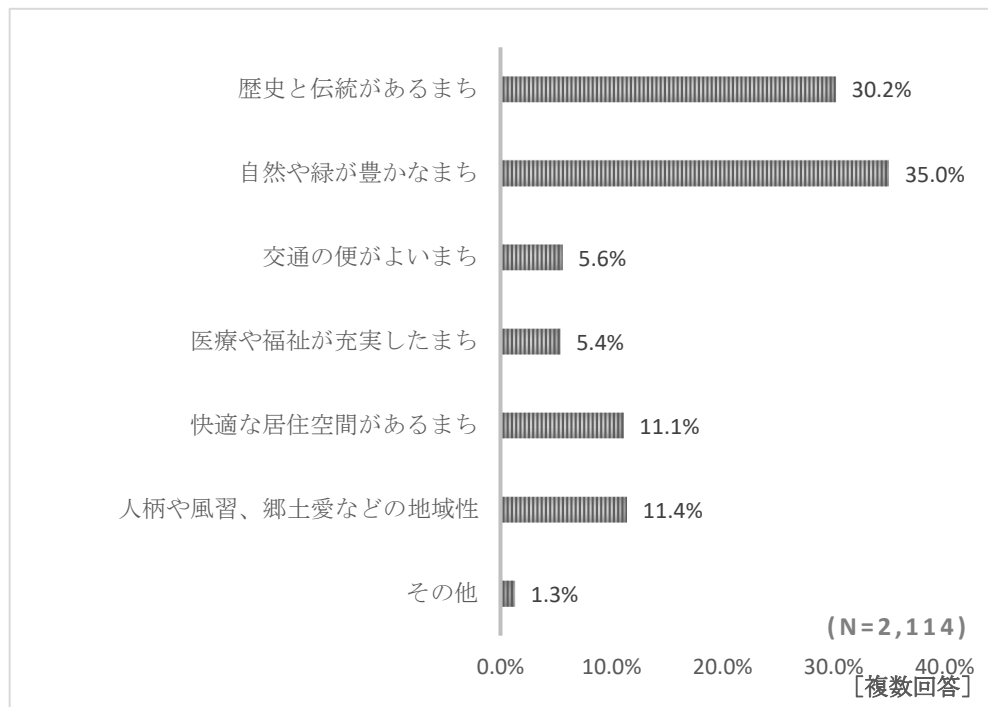
		構成比(%)											
		交通の便が悪いから	買い物や飲食など、日常生活が不便だから	市外に家族がいるから	子育て環境が充実していないから	通勤・通学に不便だから	医療・福祉が充実していないから	家賃・土地代が高いから	風習やしきたりなど、土地柄になじめないから	希望する職場や仕事がないから	教育環境が充実していないから	文化・スポーツ施設など、余暇活動の場が充実していないから	その他
全体		22.3	14.2	4.9	4.2	5.3	7.4	1.2	12.8	7.9	3.5	8.8	7.4
性別	男性	21.7	15.5	1.9	5.0	3.1	5.0	0.6	14.3	9.9	5.0	10.6	7.5
	女性	22.9	13.4	7.1	4.0	7.1	9.1	1.6	11.5	6.3	2.4	7.9	6.7
	答えたくない	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	14.3	7.1	7.1	21.4
年齢別	18～24歳	25.5	14.9	4.3	2.1	10.6	0.0	0.0	10.6	17.0	4.3	2.1	8.5
	25～29歳	21.5	13.8	7.7	4.6	3.1	7.7	1.5	3.1	18.5	4.6	6.2	7.7
	30～34歳	17.6	15.7	3.9	5.9	2.0	7.8	0.0	9.8	7.8	7.8	19.6	2.0
	35～39歳	14.3	14.3	2.4	11.9	7.1	11.9	2.4	11.9	4.8	2.4	9.5	7.1
	40～44歳	16.7	19.4	2.8	8.3	5.6	13.9	0.0	8.3	8.3	2.8	8.3	5.6
	45～49歳	20.0	11.4	5.7	0.0	5.7	5.7	0.0	25.7	0.0	2.9	2.9	20.0
	50～54歳	22.7	9.1	4.5	0.0	9.1	9.1	0.0	27.3	0.0	4.5	4.5	9.1
	55～59歳	29.0	9.7	3.2	6.5	6.5	6.5	3.2	19.4	6.5	0.0	6.5	3.2
	60～64歳	26.5	14.7	8.8	0.0	2.9	5.9	2.9	14.7	5.9	2.9	8.8	5.9
	65～69歳	31.8	9.1	4.5	0.0	0.0	9.1	4.5	22.7	0.0	0.0	13.6	4.5
	70～74歳	20.8	16.7	4.2	4.2	4.2	8.3	0.0	12.5	4.2	0.0	16.7	8.3
75歳以上	33.3	19.0	4.8	0.0	9.5	4.8	0.0	4.8	0.0	4.8	9.5	9.5	
地域別	長浜地域	21.6	11.4	6.8	4.2	3.4	8.5	1.7	11.0	8.9	3.4	10.2	8.9
	浅井地域	26.2	21.4	2.4	2.4	16.7	4.8	0.0	11.9	0.0	2.4	4.8	7.1
	びわ地域	21.6	16.2	0.0	0.0	2.7	5.4	0.0	24.3	8.1	5.4	10.8	5.4
	虎姫地域	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	湖北地域	31.0	13.8	0.0	0.0	6.9	0.0	3.4	17.2	17.2	0.0	10.3	0.0
	高月地域	11.8	17.6	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	29.4	0.0	5.9	5.9	5.9
	木之本地域	30.4	13.0	4.3	0.0	4.3	17.4	0.0	8.7	4.3	4.3	8.7	4.3
	余呉地域	0.0	33.3	0.0	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
西浅井地域	23.8	19.0	0.0	4.8	14.3	9.5	0.0	4.8	14.3	0.0	4.8	4.8	

図 2-17 長浜市から転居したい理由

(6) 長浜市の「良いところ」、「愛着・誇りを感じるところ」

あなたが思う長浜市の「良いところ」、「愛着や誇りを感じるところ」は、どのようなことですか。
次の中から選んでください。(○は2つまで)

- 「自然や緑が豊かなまち」が 35.0%、「歴史・伝統があるまち」が 30.2%であり、次いで「人柄や風習、郷土愛などの地域性」が 11.4%、「快適な居住空間があるまち」が 11.1%であった。

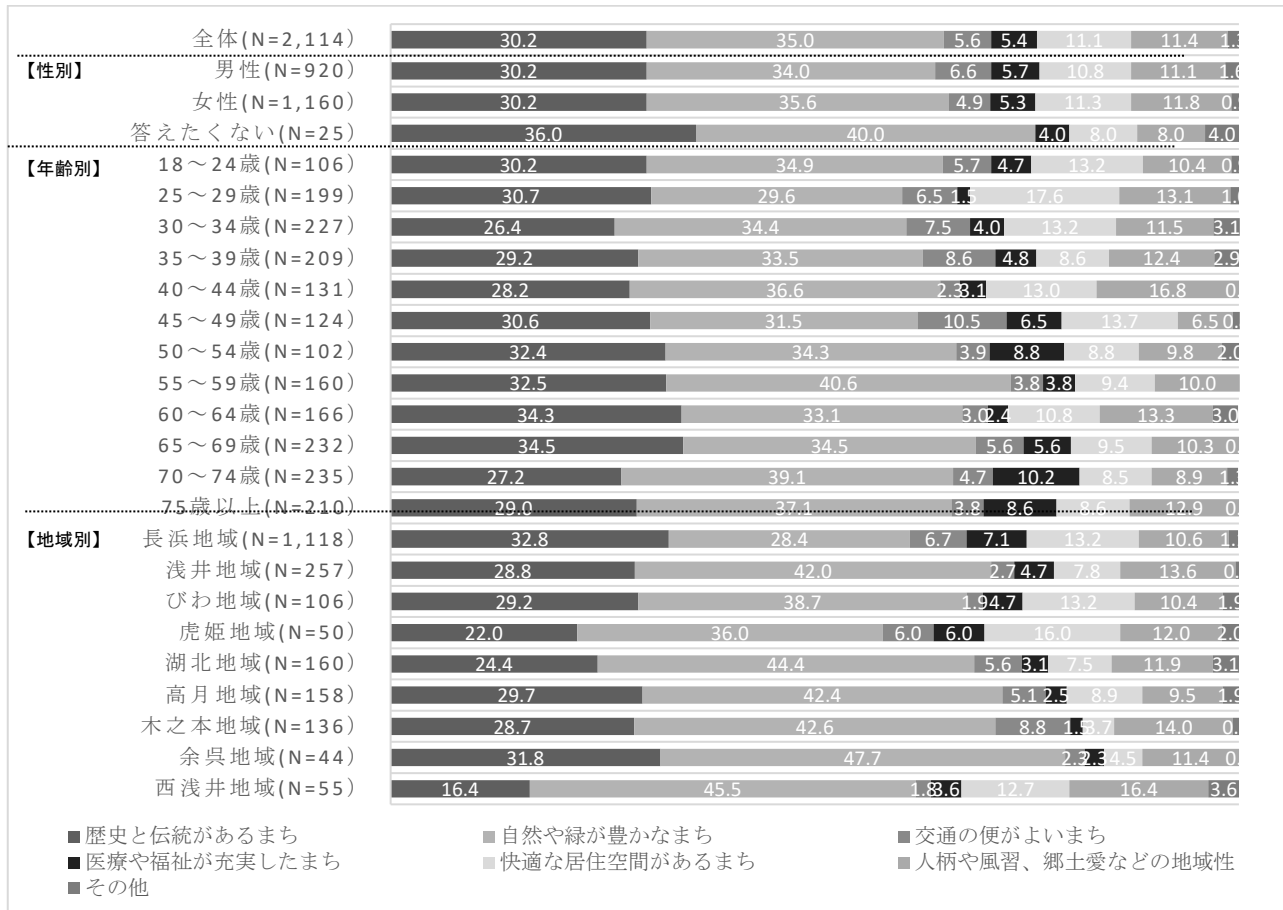


	選択肢	回答数	割合(%)
1	歴史と伝統があるまち	638	30.2
2	自然や緑が豊かなまち	740	35.0
3	交通の便がよいまち	119	5.6
4	医療や福祉が充実したまち	114	5.4
5	快適な居住空間があるまち	234	11.1
6	人柄や風習、郷土愛などの地域性	242	11.4
7	その他	27	1.3

図 2-18 長浜市の「良いところ」、「愛着や誇りを感じるところ」

「その他」の回答

子供の医療費がいなくなったこと
家族がいるから
生まれ育ったところだから
セキュリティー
いいと思うが、誇り、愛着までは感じない
移住している人とのトラブルや犯罪が少ない
図書館が充実している
市内は商業施設が多い
田舎ではあるが程よく商業施設がある
都会からほどほどの距離
バランスのとれた発展をしている市であると思うから
日常生活に困ることが少ないから
製造業を中心に大きい会社が多く雇用が多いところ
歴史がある街だと思う
ラーメン屋が多い



	回答数								構成比(%)							
	歴史と伝統があるまち	自然や緑が豊かなまち	交通の便がよいまち	医療や福祉が充実したまち	快適な居住空間があるまち	人柄や風習、郷土愛などの地域性	その他	有効回答数	歴史と伝統があるまち	自然や緑が豊かなまち	交通の便がよいまち	医療や福祉が充実したまち	快適な居住空間があるまち	人柄や風習、郷土愛などの地域性	その他	
全体	638	740	119	114	234	242	27	2,114	30.2	35.0	5.6	5.4	11.1	11.4	1.3	
性別	男性	278	313	61	52	99	102	15	920	30.2	34.0	6.6	5.7	10.8	11.1	1.6
	女性	350	413	57	61	131	137	11	1,160	30.2	35.6	4.9	5.3	11.3	11.8	0.9
	答えたくない	9	10	0	1	2	2	1	25	36.0	40.0	0.0	4.0	8.0	8.0	4.0
年齢別	18～24歳	32	37	6	5	14	11	1	106	30.2	34.9	5.7	4.7	13.2	10.4	0.9
	25～29歳	61	59	13	3	35	26	2	199	30.7	29.6	6.5	1.5	17.6	13.1	1.0
	30～34歳	60	78	17	9	30	26	7	227	26.4	34.4	7.5	4.0	13.2	11.5	3.1
	35～39歳	61	70	18	10	18	26	6	209	29.2	33.5	8.6	4.8	8.6	12.4	2.9
	40～44歳	37	48	3	4	17	22	0	131	28.2	36.6	2.3	3.1	13.0	16.8	0.0
	45～49歳	38	39	13	8	17	8	1	124	30.6	31.5	10.5	6.5	13.7	6.5	0.0
	50～54歳	33	35	4	9	9	10	2	102	32.4	34.3	3.9	8.8	8.8	9.8	2.0
	55～59歳	52	65	6	6	15	16	0	160	32.5	40.6	3.8	3.8	9.4	10.0	0.0
	60～64歳	57	55	5	4	18	22	5	166	34.3	33.1	3.0	2.4	10.8	13.3	3.0
	65～69歳	80	80	13	13	22	24	0	232	34.5	34.5	5.6	5.6	9.5	10.3	0.0
70～74歳	64	92	11	24	20	21	3	235	27.2	39.1	4.7	10.2	8.5	8.9	1.1	
75歳以上	61	78	8	18	18	27	0	210	29.0	37.1	3.8	8.6	8.6	12.9	0.0	
地域別	長浜地域	367	318	75	79	148	119	12	1,118	32.8	28.4	6.7	7.1	13.2	10.6	1.1
	浅井地域	74	108	7	12	20	35	1	257	28.8	42.0	2.7	4.7	7.8	13.6	0.4
	びわ地域	31	41	2	5	14	11	2	106	29.2	38.7	1.9	4.7	13.2	10.4	1.9
	虎姫地域	11	18	3	3	8	6	1	50	22.0	36.0	6.0	6.0	16.0	12.0	2.0
	湖北地域	39	71	9	5	12	19	5	160	24.4	44.4	5.6	3.1	7.5	11.9	3.1
	高月地域	47	67	8	4	14	15	3	158	29.7	42.4	5.1	2.5	8.9	9.5	1.9
	木之本地域	39	58	12	2	5	19	1	136	28.7	42.6	8.8	1.5	3.7	14.0	0.7
	余呉地域	14	21	1	1	2	5	0	44	31.8	47.7	2.3	2.3	4.5	11.4	0.0
	西浅井地域	9	25	1	2	7	9	2	55	16.4	45.5	1.8	3.6	12.7	16.4	3.6

図 2-19 長浜市の「良いところ」、「愛着や誇りを感じるところ」

2-3. デジタル化に関して

(1) デジタル技術の活用により期待する分野

デジタル技術の活用により、特に分野が向上することを期待していますか。

(1) 次の中から選んで番号を記入してください。(3つまで)

(2) (1) で選んだ分野において、どのような場面でデジタルによる向上を期待するかご記入ください。また、希望するデジタル技術がありましたら、あわせて記入ください。

○ デジタル技術の活用により期待する分野上位が「④ 教育」、「⑪ 地域医療」2分野となり10.0%以上となった。

	選択肢	回答数	割合(%)
1	人権・男女共同参画	35	1.2
2	多文化共生・国際交流	83	2.9
3	地域づくり・地域活動	159	5.5
4	教育	323	11.1
5	生涯学習	85	2.9
6	文化芸術	41	1.4
7	スポーツ	38	1.3
8	子育て	263	9.1
9	高齢者福祉	243	8.4
10	しよがい者福祉	88	3.0
11	地域医療	361	12.4
12	地域産業	69	2.4
13	農林水産業	51	1.8
14	雇用・就労	179	6.2
15	移住・定住	36	1.2
16	観光	164	5.6
17	防犯・交通安全	149	5.1
18	防災・減災	196	6.7
19	環境・自然	74	2.5
20	公共交通	141	4.9
21	健康づくり	69	2.4
22	その他	58	2.0

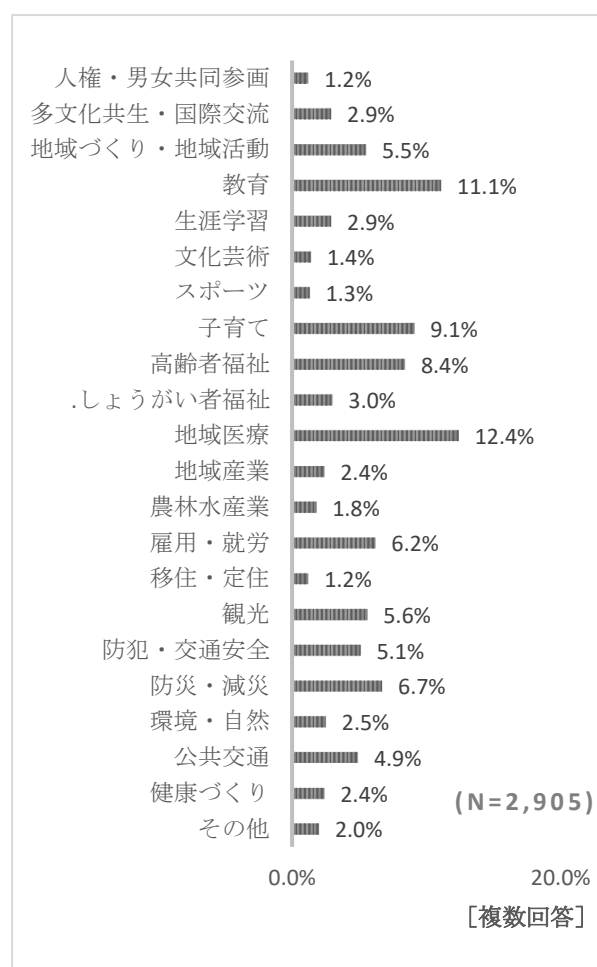


図 2-20 デジタル技術の活用により期待する分野

1) 人権・男女共同参画

難しいことはわかりません 広く老若男女に伝わるように活用してほしい
人権に関する正しい情報をネットに流す

2) 多文化共生・国際交流

翻訳により HP よみやすい
インターネット等での交流が盛んになれば、学校教育の場面で様々な国などと交流することが出来る。
自動翻訳機の導入開発
自宅にいながら国際を知りたい
今後人口減に対応する上で必要
外国人への日本語通訳
歴史など長浜にはあるので留学生の受け入れを積極的に受け入れるべき。北高のところに留学用の学校を作るべき
デジタル技術で英語を学べるシステム（海外とつながる）を公共の場で作ってほしいです
デジタル技術の活用で地域のことを発信したり、外国の文化を知ることができ、そこから地域に外国から興味を持った人が来て観光・発展につながると思う
公共サービスや世界とのアクセスが良くなり、また交流のチャンネルが広がり移住や共生が増えた
市の発する情報（市民向け）全ての多言語化、窓口、相談等における翻訳機など
外国人とのコミュニケーション
世界ではまだ食料の少ない地域、国があるのではないか、そのような国に ODA 等で日本の米等を供給できないのか。我々の子供のころはハングリー精神で何事にも努力したものです
言葉の壁を越えた交流
登録者への情報発信
国際交流が気軽にオンラインでできると良い。
通訳なしでも話が出来る
長浜を世界にアピールし、他地域の良い部分を取り入れる
長浜には年々海外の方が増加しているので、円滑なコミュニケーションツールとして
若いころから、他国との文化交流する機会
多文化紹介の情報を流す

3) 地域づくり・地域活動

広報活動として SNS を活用しやすい
現在有線による連絡だがそれに代わるものとして活用して欲しい。
地域の良いところ またそれを広める活動を SNS を通じて発信してほしい
デジタル技術による情報発信
どんなところなのか。何に力を入れているのか。を知れるといい
自治会の会議や、情報共有などへの活用
自治会単位で翌日・当日のゴミ捨てをお知らせして欲しい。メールや LINE で連絡が来るようにできればベスト。 「HP を見る」「専用アプリを見る」では、各人が能動的に動かないといけない。日々確認することなので、面倒。
映像で、楽しめることを希望します。
地域住民の集会等のデジタル化
ボランティア募集など。
自治会での情報配信、共有、回覧
取り組みの活動の内容の地域民へのアウトプットや相互やり取り地域づくりの活動の改革
古い手紙からの脱却 地域情報のプラットフォーム化
地域のかかわりが薄い同じ長浜でも隣のことも全く知らないから
地域の高齢化が進む中、広報の配布が負担になってきます。

少子化からもデジタル分野の活用により、まちづくりを促進してほしい

4) 教育

タブレットの活用
教育の地域格差を減らすこと
海外の学校との交流、特に英語圏、フランス語圏の学校と交流し、新たな価値観を知る。また、それを知ることで新たな分野に興味を持ち、それをデジタル端末を使用し新しい発見をする。
教育現場が家でも見える化してほしい
パソコンの使い方を学ぶ
南高比值をなくしてほしいが北は普通科が多すぎる
他の学校とも時々つながって意見交わせる
個人の能力に応じた指導
先進的教育により移住者増を目指す
デジタル化による効率の良い学習
オンライン授業や色々な経験をしてほしい。
教師の働き方改革。事態のそぐわない学習内容の見直しと教育方針の見直し
入院、不登校などはデジタル化すれば通えなくても授業を受けられる
プリント類 学習時 連絡等デジタル化してほしい
未来の子供たちの学習向上
デジタル化で、教師の仕事が減れば子供と向き合える
質の高い教育を受けることができる
より理解できる人間性を育むシステムの構築
都市と地方との教育の差がなくなるような教育システム
デジタル化に強くなるための学校教育、資格取得
タブレット一つで通学でき、授業をオンデマンドのように見られて復習・予習できるようにしてほしい
学校などで活用し、授業の効率化。PC等を使用しネット情報を正しく理解、活用できる力をつけてほしい
一人一台端末を今以上に利用できるといいと思います。デジタル教材も良い物がたくさんありますが個人負担になると使えない。市の補助があれば個人の学力向上にも繋がると思います。
力を入れてほしい
向上よりもネットリテラシーの授業を徹底すべきだと思う。親がネットリテラシーに疎い場合もあるため学校でフォローするべき
ずっと一般的な教育が続いて幅広い教育や個性を伸ばすようなものができたらいいなと思ってます
基礎科目はもちろんですが、選択授業としてもっと科目を増やして講師にしてみよう
小学校からの音楽教育の充実、授業の中にデジタルを取る、先生の育成とカリキュラム
IT、PC等に強い人材育成が必要だが目の保護、運動の重要性も合わせる必要あり
学校に行かなくても授業が受けられる体制が欲しい
動画、授業を受けることで授業内容の変化、教師の質に左右されない
私立高の学校の様子を知りたい
将来子どもが大人になった時社会に対応できるように
学力向上、学校に行きにくい子供らが家やほかの場所でも学べるシステムづくり
最近学校ではタブレットを使って授業をしていると聞いたので教科書をタブレットにダウンロードさせたら通学時の持ち物が少なくなるのでは
小中学校プログラミング等の研修機会が与えられること
一人ひとりの苦手な科目も分析して教える
デジタル社会に対応できる子どもたちを育てることが大切

いろいろな分野の人の話を聞ける機会が増え、知らなかった職業について知れるなど、将来の幅が広がると思います。
学校の授業にタブレットやpcの使用、色んな地域とのテレビ電話による授業や交流、学校だよりなどの発信もデジタル化してほしい。
保育園への電子機器導入
日本のみならず世界の歴史や地理の分野で、教科書や動画だけでなくVRで直感的に学べるような場面。
国際交流など含め、諸外国の言葉、文化、価値観も共有できるような活動ができると嬉しい。
都心で受けられる学校教育や、塾などの指導を配布されたデバイスで受けられたり、サテライト校のような施設で受けた後にリアルに先生にサポートしてもらえたりすると思います。
学校外でも子どもたちのタブレットの使用を許可して欲しい。
職場のピッチをスマートフォンにすると便利だと思う。職員間のLINEで連絡をとると慣れているので分かりやすい。写真撮影やネットでの調べ物がすぐに出来る。
教科書のデジタル化
市内各家にネット環境を。その上で、市内の小中学生にタブレット端末を配布してコロナ禍等通学困難な時、授業が受けられる様。そのネット利用で生涯学習にも活用してもらおう。
教科書をタブレットにしてほしい。宿題や授業もタブレットだけでできるように。
外国籍児童の教育向上
タブレット学習などもすでに導入されているが学校による差があるように思う。子供達に質の高い教育ができるようにレベルの向上を期待します。
コロナも含めいじめ、不登校の生徒が継続的に授業に参加できること
子どもの学習場面で、親の懇談会出欠、家庭訪問スケジュール調整
より充実した教育環境で児童・学生・生徒の学びを支援できるような場面
少しずつ変わってるがもう少しペーパーレス進むと良い
子育てとも関連するが長浜市内の高校の志望者減少が心配。どのようにデジタル技術を活用すればよいのかわからない。もっと長浜市内の高校を元気にしたい
デジタル技術を子供にしっかり教育してほしい
教員の負担を減らすシステムの導入
国際化に向けて、他国の人たちとつながれるもの、機会を作ってほしい外国を身近に感じてほしい
各種手続きの電子化
教材などのデジタル化
個人のレベルや不得意なものに重点的に取り組めるようなAI学習システムを導入して、地域や学校のレベルに関係なく目指す学力に応じた学習ができる環境を作ってほしい。
園はアプリで欠席連絡ができるが、学校はまだできないので出来るようになると嬉しい。
他の学校の子供たちと交流出来るとよい
子どもの苦手分野や学校活動など親ともっと共有できるようになってほしい
学校の先生の授業は録画で十分
田舎だからこそ、校舎に集まって学ぶだけでなく自宅学習も盛んにしていくのはどうですか？
住居地に左右されない等しい教育を受けられる環境整備

5) 生涯学習

自宅PCで学ぶ
資格習得のためのオンライン授業。
人数が集まりにくい。
ボケたくないから
図書館の利用や学びある場での更なるデジタル化
自宅での学びの機会

WEB セミナー等、大学の授業も遠くの受けたいものが受けられる
いろんなことを勉強したいです
カルチャースクール等が少ないためネットでの学習ができれば
どんな場所でも気軽に勉強できるシステムがあれば活用したい。子どもだけではなく大人でも資格の勉強ができるシステムを構成してほしい
オンラインでの研修
年齢や時間に関係なく学び続けることが出来る。
大学の通信教育がもっと広まると嬉しいです。 校舎に行かなくても受講できる。 講義の時間が決まっていないから、別の本業があっても学べる。 授業料も通学より安いから、挑戦もしやすい。と、まだまだたくさんのメリットがあります。 けど、今はまだ限られた大学の、限られた学部しかありません。 なので、このオンライン化の流れに乗って、もっと幅広い大学・学部で導入してほしいです。 高校生の時の選択で、その後の職業が縛られてしまうのはもったいないと思います。 新しいことに興味を持った時、「でも無理だからやめておこう」ではなく、「きっと自分の力になるから頑張ってみよう」と思えるような社会になるといいなと思います。
学習の機会の情報提供
転職の際などに必要な新しい技術や資格の取得を低い価格で学べるオンラインの公的機関
もっと広く参加しやすい講座を
主婦や退職者向けにいろいろな学びの場を提供してもらい、互いに交流できるとよい
高齢者が参加しやすいネット。
高齢者のスマホ活用の充実の為の取り組み
自分に何が出来るか道への生涯学習へのフォローアップ。
オンデマンドタイプの講座・講習が受けられるようになると良い。
まちのコミュニティでのイベント等をデジタルで見られるようにすると良いと思います。
自宅で出来る運動の指導
学習、講習会場へ行けない人のための、遠隔教育や資格取得のための通信教育など
各公民館などで行われているサークルや講座が検索できるようになれば、参加しやすいと思う。

6) 文化芸術

美術館などの施設があっても良いと思う。
文化財や街並みをビデオ等に記録を残し保存、メンテナンスをしやすくして
多種多様な文化芸術の紹介や共有・発見等
文化交流を活発にしたい
世界に発信し観光客を多く見てもらえるように
文化財のデジタル化 来館しなくとも文化財が楽しめる
高齢者対策
発信できる場面がもっと増えればいい
ホールを閉館する方向より湖北で文化芸術を鑑賞する機会を
学校図書において古い本を捨て新しい本を⇒古い本をネットなどで閲覧できるよう
長浜市内に音響効果のいいホールにするために何かできないかな
家にいながら映像体験舞台ステージが見られる
デジタルアーカイブ

7) スポーツ

E スポーツの発展 VRAR 技術を使った運動施設

巨大スクリーンなどでのスポーツ鑑賞
仲間が集めやすくなる。メンバー募集ページの構築、ジモティーなどの連携
トレーニング、走り方など
高齢者が多すぎる。
市民がどこでも施設利用できるシステム、電子カード化
AIがどのスポーツが向いているかを判別できるとTVでみた。子ども達にしてほしい。
ラウンドワンみたいな場所がほしい
スポーツイベントをもっと実施してもらい(色々なスポーツ大会)デジタルコンテンツで見れる様に

8) 子育て

幼・小・中の連絡をアプリ等に集約して欲しい。
高齢者の安心安全に関すること
情報発信
シングルマザーでも不自由なく暮らせるように期待しています
ITやデジタル技術を用いた教育や、子育て支援の周知・実施
子育て世代との輪が広まるような技術があれば良いな
手書きの書類がすごく多い
多くの人に支援やサポートなどの情報が行き届くように
妊婦の方、子持ちの家庭、高齢者の方、障害のある方の負担が少なくなるように受診や通院の時間が短くなるようなシステム作り。往診医師の増加（手当をするなど）
コロナで出産時母親教室のようなものが一切なかったのでオンラインでも、もっと広がるとよい
子育てをしているので、子育てに必要な情報をいつでも見られるようにしてほしい
予防接種の間診票等、手続き記入が多すぎる。データをひっばってこられるようにしてほしい
育児中に外出するのが大変だから
スマホで手続き
先人達の知恵
子どもの見守り
小学校以降の連絡網のデジタル化
一人一台タブレットを家庭にも配布して家庭でのデジタル技術の平等を図ってほしい
デジタルによる子育て支援
昔は公報のみの連絡で、今はいろんな方法で検索もでき助かっている。便利
長浜市のイベントや役所で役立つ情報の発信・相談フォーム
手続きをすべてマイナンバーカードで電子申請できるようにしてほしい
ひとり親が生活にすることにおいて、口ではなかなか言えないことをチャットみたいな感じで文字で打つことより今いる街においてどういう支援が可能性を表示してくれてマイナンバーと紐づけていけば自動的に支援をしてもらえるところにつながり通りのこされないようにする
子育てに関する恨みや不安を共有できそうなサービス
オンラインで気軽に相談できるといい

子育てに関する情報共有を図ることができる
保育園等の受け入れ状況
手続き書類の簡素化
子育て関連アプリを充実してほしい。こども園などの入園に際し、事前に情報が欲しいが、ネット上に市内の施設についてはほとんど口コミが無く参考にならない。市で保護者へアンケートを取り、その結果を共有してほしい。園見学をリモートでできるようにしてほしい。
公園等にカメラを設置して見守りを推進する
デジタルリテラシー、プログラミング教育
国が決めた給付金を即刻も振込してほしい。すでに振込実施している自治体あるのに毎回遅い
シェアリングサービス
支払いに電子決済を追加してほしい。
保育園のお帳面をデジタル化してほしい。デジタル化にすることで、記入忘れなどあった場合も、後から送ることができるので。
保育園入園等に必要な書類のデジタル化
幼小における集金のデジタル化(キャッシュレス支払い)
手続きをスマホ等で行うことができる機会が増えるといいと思う。
今後過疎化が進む中で次世代の方が住みやすい街づくりを進めるべき
支援センターなどでデジタル技術を用いた催し
デジタルに強い人材育成
子育てに関する情報をみんなが共有出来る
高齢者増えるので施設をもっと増やすべき
手続き、お金の支払いを全てキャッシュレスにしてほしい
情報発信
長浜市は、幼児の検診が少ないので子供のメンタル、発達についてももっと手軽に
安全に外で遊べる見守れるイベント
支援金提出書類や予防注射の履歴などデジタル化できると便利。
園から配布される子供たちの白黒写真付きの園通信は、白黒ゆえに表情がわからないので保護者しか閲覧できないフルカラーの園通信アプリを作ってほしい。難しいなら園内に張り出してほしい。白黒写真だとよくわからないのに印刷するのは紙とインクのむだ。
子供が学校への行きしぶりがあっても在宅で勉強がしやすい環境づくり、校区外通学が選択しやすくなること
保健師などのオンライン訪問
孤独や孤立することが無い様な情報を共有できるとよい
学校でのデジタル活用
慣れない子育てで24時間何かあった時、すぐに連絡が取れる場所、人がいてほしいと思う
共働き世帯に便利に取り入れられるよう、いろんなシステムの開発
市での行事などがアプリを使って一覧で見られる

子育て世代の親は若いので予防注射の予診票などはネットで記入できるようにしてほしい
安全安心な子育て環境
妊娠初期のしんどい時期や産後忙しいのに役所関連でやることが多い。用紙を役所にとりに行く時間が大変
様々な手続きの際にペーパーレスになってほしい
オンライン手続きの推進、プッシュ型の情報開発の拡大
母子手帳や接種、保育、教育、全般
ネットで託児所の申請ができる
出生届を出すだけで勝手に子供の年齢や条件に応じて受けられるサービスや節税などを適応したり必要なお知らせを受け取ったりする
各種申請
子育てで悩む人もいると思うので子育てに協力してくれる環境があれば素敵だと思います。
保育園の申請や、学童の申請など毎年様式が若干変わっている。市役所のホームページからダウンロードしたら様式が違って書き直しさせられた事がある。これも統一してスマホで申請できるようにしてほしい。
子育てで分からないことや出来ないことがあっても誰かが助けてくれやすくなる。
母子手帳の電子化
海外などのベビーシッターのサービスなどの導入

9) 高齢者福祉

手続き等のデジタル化
緊急通報の充実
高齢者が増加していく中で一人住まいになった場合、緊急通報システムなどもありますが、疾患があるなし関係なくけがや病気などになった場合声やボタン操作などでかかりつけの医師につながっててもらえるシステム
一人住まいの対応
雇用、就労、労働環境が良くなるといい
家においてPC等で地域活動に加われる
高齢者の医療費負担減
家族にもスマートフォン等での情報伝達
買い物の宅配、外れた場合の高齢者タクシー手配。特に病院に出かける場合
AI搭載ロボットによる介護現場職員全負担軽減。自宅における体調急変の通報や見守り
高齢化が住みやすく福祉を充実してほしい
市内中心部以外への福祉の活用
患者のデータを管理、共有
デイサービスのスケジュール申請の簡易化。タクシーなどの移動手段の簡易化
高齢者でも情報を得やすい、予約とかしやすいデジタル化
介護保険の申請手続きをオンラインで行えるように、検討して頂きたいです。独居の方のご家族が他府県な場合、入院中で身寄りのない方等に活用できるかと思っています。
見守りや介助など、家族や福祉職が少しでも負担が減るようにしてほしい。
高齢者による運転・外出において、免許返納・車道の真ん中を堂々と歩かないなど、両者のいのちを守ること
全施設紙ではなく電子機器での記録導入をすることで誤字脱字を防ぐことが出来時間短縮により、ご利用者様との時間が増えることを期待します。
介護現場におけるロボット導入

スマート化されることより今までも高効率、少人数で福祉できるようになり、少しでも若い人の負担を減らせるように期待している。
医療・福祉の情報
高齢者、自動運転の送迎サービス
介護支援のネット申請や対応即強化
ネットを通じたコミュニティーづくり
老人の話し合える場所やケアの充実
高齢者でも使える注文方法
子どもが一人だと思えるサンゴケアや支援センターをなくしてリモートでもみんなが使える、気軽に話せる場づくり
高齢者向けのデジタル機器を使った学びの場（講演会など）があるといいと思っています
リハビリ知能向上にデジタル機器（ゲームとかトレーニングマシン）等によって介護士の負担を減らす
ロボットを使った介護
本人や家族が受けることができるサービスを検索したり情報がわかる
福祉施設の利用活用が容易になること
独り身になっている方が多いので、AI技術で会話ができるようにしてほしい。
各種の郵送による通知を、メールなどでも受信できるようにする。
様々な手続きを役所に行かなくてもいいようにしてほしい
老いてもなお生きがいを感じられるような福祉サービスを知らせていく
若者と情報が共有できるように
予防接種などの充実
自分の家族体制を分析して生活体系を作る
高齢者の方も住みやすいと感じるものになればいいと思います。

10) しょうがい者福祉

自然環境を活用しウォーキングやハイキング等の観光地域活動を行う。
たくさん余分な出費があるため手当支給希望
外で定期期間働き続けることが難しい人へのネットリモートなど雇用形態
障害者たちが手続きする簡略化
3Dプリンターやデジタルツールを使って、そのひと用のオーダーメイドや義手や義足を作る
WEB申請・デジタルIDの取り組み
障害がある人の福祉関係のことをよく考えているから
障害を持った方たちのために向上してほしい
長寿会への対応
おすすめの支援サービスを教えてくれるコンテンツがあれば
未だに、自立支援医療自己負担上限額管理票で、手書きで紙に書く仕組みがある。デジタル化してマイナンバーカードだけで手続きしたい。
福祉だけではなくて就労に結びつくような、障害をサポートできるような技術があるといい
家族にもスマートフォン等での情報伝達
近場で楽しく観光できる場所を意外と知らない。人気のスポットや新店などまとめて調べられるサイトがあったらうれしい
誰もが年老いて不都合が生じてできることは仕方ない。人生の終わり方は人に迷惑をかけたくない。
体が不自由でもパソコンは使える障害者に仕事を与えチャンスを与えてほしい 活用してほしい
孤立させない社会とのつながり
待たずに移動できる手段が必要
各種の郵送による通知を、メールなどでも受信できるようにする。

1 1) 地域医療

待ち時間の短縮
医療の現場でデジタルが進めば待つ時間の軽減など
情報の共有化
病院の受付、予約をデジタル化し自宅からできるようにして欲しい。小さい子を待っているのは大変です。
ネット予約出来る。Web で診察してもらおうなど。
通院距離の短縮 診断の正確さ
医療データ etc がデジタル管理されている方が現場で働く方の負担も減りそう
交通の便も悪く市内へ出るのが難しい
無駄な受診が増えないよう、受診先で過去の受診歴などが確認できるようになってほしい。医療費の削減を有効活用につなげてほしい
どの病院に行っても治療履歴がわかるように！
医療情報共有による技術向上 誤り防止
都会の方が医療が発展しているので情報を出してもらいたい
病院の情報が知りたい。診察料など
医療機関で情報を共有する
検査結果の共有化と授業の削減
医療機関へのオンライン予約が簡単にできるようにしてほしい
医療費の有効活用
病院が少なく少し専門的な分野になるとすぐ市外の病院を紹介される病院も少なく不便
早期発見と技術の進歩
カルテ等
遠隔で診察が出来れば、しんどい時に病院まで行き、長い待ち時間を過ごさなくて済む。
市のホームページと医療機関の情報が違う。電話確認したら受け付けてないことがあるのでそんな事がないような、変更があればすぐに更新されるような仕組みを作ってほしい
最先端医療を市内全ての医療機関で受けられる
医療関係も増やしてほしい
バスの本数が少ない地域や高齢者の多い地域などで動画を使った受信が出来る。
医療を地域全体で把握する
保健証や診察券の提示が楽になる
地域医療従業者が少なくても安心できる
医療機関と住民がパソコンやスマホで情報交換しながらスピード化を図っていくこと
病気の診断
妊婦の方、子持ちの家庭、高齢者の方、障害のある方の負担が少なくなるように受診や通院の時間が短くなるようなシステム作り。往診医師の増加（手当をするなど）
外国人への日本語通訳
救急時 PC 等で医者が救急処置等につながる
かかりつけ医をなくして自由に都度どこでも医療を受けられる仕組み
病院、クリニック予約商業科
オンラインでの診察・処方箋の発行が進むと体調不良の子供を連れての受診のつらさが軽減されそう。
医療情報の提供、待ち時間の改善、ネット予約や受付などを高齢者にもより分かりやすく簡単に。高額療養（限度額）や公費の申請などを楽に
地域によって医師の過不足があるため、それをなるべく無くしてほしい
高齢者や子供の為に（簡単にしただけで欲しい）

医療機関に行って血圧を測り本人が症状を訴えるだけ聴診器はめったになし
高齢化が進み受診を難しい人がオンライン治療
ペーパーレス化、キャッシュレス
事前に症状などをスマホで入力して時短など
救急医療、高度医療、に対するできる考え
患者のデータを管理、共有
進んだ医療活動に向上をきたいしてる
長寿会への対応
医療機関の選択の仕方
日本医師会の HP に掲載されている地域別統計を見てみると、長浜市は全体的に人口 10 万人あたりの医師の人員数が全国平均よりも上回っていますが、長浜市の高齢化率が 3 割に迫る中、やはり僻地での医療提供体制を懸念しています。また、私自身長浜市内での高度な医療提供はやはり長浜地域に集中していると体感しています。高度な医療を欲する時、バスも電車も本数が少なく、車の運転ができない高齢者はどのようにそのような病院へ足を運ぶのでしょうか。そこで、厚労省が医療分野でのデジタル技術の活用を推進している 1 つとして遠隔医療を挙げています。もちろん直接の診察が 1 番ですが、これからより深刻化する高齢化と医師不足という問題をリカバーできるような医療分野でのデジタル技術の活用を期待しています。
年中無休 24 時間体制のオンライン診療・薬の処方・健康相談の充実化
単身高齢者などの隅々まで救える命を救うデジタル
活かし方はわかりませんが、50 年後 自分が後期高齢者になった時に西浅井に住んでいて安心して暮らせるのか、不安を感じています。
診療予約システムを各医療機関統一して空き状況がわかるようなシステム
70 歳以上の老人に指輪端末を配布し身体に着けて状態を常時観察し異常を把握して病院等と連携する。 今後こんなことが出来れば良いな。と思う。
大きな建物の病院はあるが医師がいない問題の解決
高齢などの理由により運転ができなくなっても医療を受けやすくする。往診による医療従事者の負担の軽減
高齢者や障害のある人が家や家の近くでリモートで診療できると交通の心配などが減るのでいい。
健康管理のデジタル化
病院の個人名呼びはやめて、ブザーなどに早く切り替わってほしい
マイナンバーでひもづけていれば自動で予約などできる用になるといい。

1 2) 地域産業

地域産業の発展は必須であり人口減の中、活用指導すべき
米作り
効率的にスピーディーに進むことができれば地域活性につながると思う。
長浜市で働ける職場が少ないため増やしてほしい
商品や品質の管理、他産業との交流などの場面
産業振興促進
デジタルにかかわる仕事が増えれば都会に出でいなくても長浜に住める機会があると思う
地域の産物をより良い製品にするための情報精査
企業誘致
人を呼べる産業、大企業の誘致、工業団地等、人口の増加対策を考えてはどうか
求職のマッチング、副業のマッチングを充実させてほしい
地域産業を盛り上げるためにもっと大きくアピールをしてほしい。その産業に合った祭りなどを開催することで参加して知ることができると思う
特にないが産業が時代に取り残されて衰退していくのは良くない
広報活動として SNS を活用しやすい

最新技術を利用した産業が発展する
担い手の若返り
雇用の場が一つでも生まれれば、それだけで活気に繋がる
地域産業を全国に発信して地元を盛り上げる仕組み
時代の流れにあった情報提供が必要

1 3) 農林水産業

農地管理から栽培、各種申請手続き等全てにおいて
畜産業等労働現場へのロボット。ハウス物の手作業現場における AI 化
家族型農業の支援に取り組んで
中山間地域発表のためデジタル技術を活かした米を
スマート農業の積極的な導入 導入による補助
農業事業者の減少をデジタル技術でカバーしてほしい
収穫ロス、出荷ロスがなくなるようなシステム
担い手野若返り、効率的農業
大規模集団営農をデジタル化で効率よく少人数で！！
海外にも売れる農作物づくり、海外に売るようにして若い人たちが農業する意欲を育ててほしい
林業も衰退して境界も知らない世代がふえてきている
新たなものではなくもともとあるものを活用し、飛躍化
若い人が農業に興味を持ちそう
デジタル技術を活用し、農業用機械をプログラムで動かせるようになる
その日の天気にも左右されない、天災にも左右されない安定した農林水産業
無人化で効率よく作物が栽培できるのでは？
基礎産業であり、環境保全、人口流失防止の面でも先行するべき
技術の伝授
高齢化の対応としてデジタル技術の活用
効率的に生産できる
自動でできることを増やして人手不足解消
人手不足を補うため若い人が農林水産に就労しやすくするため
最近言われているような、無人で作業をしてくれる機械を使って農産物を効率化していくと良いと思う。
商品や品質の管理、他産業との交流などの場面
農作物管理のデジタル化

1 4) 雇用・就労

求人情報が今より検索しやすくなるように
デジタル化によりリモート化され市街地以外での就労を増やし、教育～仕事までどこでもどんな人でも利用し、活用できるように期待している。
わざわざハローワークに行かなくてもスマホでみられるように
リアルタイムで雇用の情報がわかる
リモートワークなどの在宅ワークの増加で選択できる職種が増えること、通勤時間の短縮
完全在宅でも隙間時間に働ける仕事が増えるといい
ハローワークでの閲覧のやり方
身近なところでの必要な人材技術者がわかるようにする
仕事の求人などスマートフォンを通して見ることが多いので、これからいろんな会社の求人がもっと見やすく調べやすくなると市に人が集まるようになると思う

どこでも働ける時代に長浜だからメリットを作れるようにまず優遇策を
面接をできる限りリモートにしてほしい
産業会社の設立による人材の雇用アップ
働く環境を充実させてほしい
失業率がまだまだ高いため地域のデジタル化により就労活用化
ハローワーク以外での情報のデジタル化
雇用者と非雇用とのマッチング
積極的に企業を誘致し人口を増やす
働き方の多様化を下支えしてほしい。業務の見える化、脱属人化。デジタル系企業の増加。
大企業からの雇用などデジタル化へ
リモートワーク、サテライトオフィスの集積
印鑑を押すのが面倒だから
自分自身が他市から転職した時に条件にあてはまるところがなく大変だった
若年世代の地元雇用、就労のためにも情報やメディア分野を活発に！！
雇用される方の充実感
自宅や宿泊先などからでも工場内のロボットを遠隔して仕事ができる
人材不足が続くと思うので質の悪い求人をそもそもはじく
第三次産業の拡大
デジタル化してもよいところはどんどん取り入れて、早く仕事が終わればいいのに
雇用、就労の現状が早く広報できる
自分に合った働き場を統計的にかんがえる
コロナ化の中でリモートワークも注目され定着したものもある。子育て世代には良いかもしれない。とされているが実際には隣の部屋で子供達が暴れているので大変である。しかし、家から出ずお金を稼ぐ方法としては有効である。
事務手続きの紙削減と負担軽減。
ハローワークの支援だけでなく、会社とマッチングしやすい地元の就活に強いアプリとかほしい
就労の拡充を全面で行う。
時給アップ
地域産業を守るためにどうすればよいかデジタル化で考える
新しい産業
地方においても大企業に負けないうデジタル化によりリモートによる仕事ができるとよい
雇用のミスマッチ対策の整備
リモートワークのためのフリーWi-Fiの充実
書類等スマートフォンを使用したい
長浜市の求人をすべて一つのサイトでみられるようにすると嬉しい。
面接の日程など
雇用状態を管理して世帯単位で管理して自動で税金周りを処理
転職した際の雇用保険の処理をオンラインで済ませられるもしくは自動で切り替わる
多方面からの人材確保、適切な労務管理、人がいる場面と不要な場面の整理集約など

15) 移住・定住

すぐにネットで調べられると便利。
日本全国どこにいても物件や求人情報を取り出しやすくする
空き家、空き土地も増えて高齢化も進むのでわが町をアピールして若い人達がこの町に住んでみたいと思ってもらえる様にしてもらえるといいと思う。

いわゆる空き家を管理している者（不動産屋、後継人等）で、情報（フル）オープン OK の者の出す情報、データベースを開示
過疎化しつつある現状を食い止めてほしい、または異文化の交流
リモートでの在宅勤務が可能となった場合の若い人達の U ターンや I ターンへの期待
長浜の過疎化しないよう、魅力を発信し移住者を増やせるようにしたい
空き家物件情報等住みたいと思ってもらえる資料
手続きのデジタル化
テレワークで都市部の人を呼び込む
手続きの簡略化
デジタル技術の専門知識がないため答えられない
市役所等での様々な手続きが楽になると良い。

1 6) 観光

埋もれている歴史や土地をもっとしっかりアピールして特産や観光に繋がられるように
集客の為に活用し活気のある街へ
観光 DX よりよい観光体験ができる
観光地の見どころを満喫できるように発信してほしい
その場所なればの良いいところを広めてほかの人にも知ってほしい
観光場所の目立つ所に QR 等を設置し、誰でもすぐに場所の簡単な解説を見れるようにすると良いかなと思います。
地図がデジタル化してもみやすく
QR 決済が使える施設の増加
フリーWi-Fi ふやす
駅にもっとオシャレなお店ができてほしい
世界中の人に長浜の魅力を発信できる
インバウンドに力を入れる
手持ちのスマホをかざすと昔の風景がみられる
観光する側としては現在の案内見どころなどを配信されるとありがたい
長浜のイベント、子供用、大人用
SNS の活用 ライブ配信
1 日遊べる場所が増える
デジタル技術を取り入れ観光収入を増加させる
イベント等をアプリなどで色々配信して欲しい。
観光に力を入れて活気のある町へ
VR を使った観光案内
長浜市を楽しむエリアはここ！みたいなアプリ
デジタル技術による買い物の促進
お勧めの観光地をもっとたくさんの人に知ってほしい
観光地としてももりあがるためにも発展的なことを取り入れると人を呼びこめると思う
どこで催しをされているのか私たちは今まで知らなかったですがデジタル化ですごく便利になった
観光地の情報をより詳しく紹介する。おすすめルート等の案内
どこの施設に行けばどのような催しがあるか知りたい
広報や交通アクセス
難しいことはわかりません 広く老若男女に伝わるように活用してほしい
アプリなどと活用して気軽な検索ツール
他府県・海外から観光客にもっと長浜の良さを知ってもらいたい

長浜市の観光施設、店、イベントなどの情報をまとめたサイトがあれば観光客に親切だと思う。
プロジェクトマッピングのようなたのしい観光地
地域の良さを全国はもちろん世界に向けて発信することが出来るので穴場スポットなどで地域の活性化出来る素晴らしい歴史という観光資源を大切に。
マンネリ化をふせいで新しい情報強化
全国から長浜市の観光についてアンケートやおすすめスポットなどを展開して観光に来てもらうほうを増やすことができる
メタバースなどの仮想空間で長浜市を感じてもらえたり、参画いただける環境整備
地域の資源をデジタルで体験出来たり、まちの案内マップをスマホで遊びながら見られるようなものが欲しい。

1 7) 防犯・交通安全

詐欺等の防止
最近車の盗難や交通事故が増えてきているので防犯対策でカメラ等の技術がよくなると被害の削減ができる
防犯カメラの設置
犯罪情報がリアルタイムで入ってくる、詐欺のアポ電が今入ってるので高齢者にすぐ注意喚起できるような子ども用の GPS の無料貸し出しをしてほしい。又は、学校の登下校が確認できるアプリを小学校にも設置。
防犯カメラに AI を導入
巧妙な犯罪に巻き込まれないように
情報の共有化
赤信号に反応してブレーキがかかる車や、飲酒運転など事故を防げるように
事件・事故が起きた際の迅速な解決
防犯カメラの強化。犯罪者情報の明確化
各自治会に防犯カメラの設置
注意喚起のため近場で犯罪や事故があった際に通知
犯罪に合わないように事故に合わないための方法
町中や交差点、わき道から本道へ出るところ、一時停止のところに防犯カメラをつけてほしい
監視体制の確立
犯罪者の特定
メールなどによる情報発信
高齢者でも分かりやすい、子育て世代もやりやすい情報提供
暗い道(防犯・交通面)、狭い道での路駐、自転車の逆走等、交通面に不安がある。
被害者側の泣き寝入りを防ぐこと
犯罪、事故ゼロを目指しみんなが安心出来る街作り
防犯、交通安全についての速報でわかりやすいサイト、SNS があれば便利
防犯カメラを通学路、地下道に設置してください
防犯カメラを各自治体ごとに 1 台以上プライバシーに接触しないで設置
防犯に対する呼びかけ等の案内
犯罪未然防止・監視カメラの設置
不審者情報アラート 子どもの見守りカメラ
防犯技術が向上し、高性能な記録媒体が一層普及して安全にくらせること
自動取り締まり
家に異変(強盗とか)があれば、通知がくるようにしてほしい
長浜市ではまだ問題になっていないと思うが、都会では不審火などが増えているので問題になる前に「長浜市では、そんな事は起こさせない！」という意思表示的なデジタルアピール。

事件や不審者が現れた場合など学校や職場に通知するシステムメールだと見ないことも多いため音声による出力が好ましい
防犯面緊急危機管理センターの対応

18) 防災・減災

迅速に情報を共有する
防災無線は地域の放送があっても暴風にかき消されて全く聞こえず不安になる。
災害発生時の確実な連絡体制確立。スピーカー連絡では不十分。
住民一人ひとりに合わせたサービス提供できる環境整備としてデータ連携基盤の構築。マイナンバーカードの活用
大災害が発生しても、Wi-Fi等途切れないネットワークの維持
緊急連絡の向上
災害を事前に予知し災害が起きなければいい
災害時に最新の情報を手に入れることができる
避難指示や避難ルートを放送だけではなく、電子で目に見えるように。また地震や台風になっても、電力の供給が途切れない技術を作りたい。
自然災害は待たなし、絶対起こってくることを必ず伝える要件
より速くより正確に自然防災のための活用方法
動画などで防災のまとめ知識とか、備えとか。リールのような短時間で詳細が分かり備えようとする情報の提供
災害が起きたら適した的確な情報がすぐ発信できるとよい
タブレットやスマホに長浜市の防災アプリ
地震や周囲の災害状況がいち早くわかるシステム
管理がしやすくなり、逃げ遅れた人などの対応に生かせそう
災害の時すぐ行動できるよう
災害が起きた場合の早い情報の取得
山に囲まれて電波がないことが時々あるので危険であるとき、スマホが使えない
台風や雪など事前の情報があればいい
去年の高時川の氾濫等をデジタル化し早期避難出来る
水害に弱い土地なのでなにか対策があればいいなと思う。
情報の収集 共有
水害の懸念がある為
防災の事を理解してもらうために、子どもから大人、年配の方、誰でも簡単なそうさをみる事ができて、子ども向け、大人向け、などを分けることによって理解してもらえるようなシステム
原子力の緊急時対応独自ネット回線利用等
いけるところの避難場所がすぐ地図上に出る。ハザードマップと連携
ほかの自治会同士の交流・活動内容などを参考にしながら自分の地区も充実する
通常災害や原子力発電所の事故などが早く詳しく伝える
メールなど通知をより迅速
シュミレーションシステムを活用して、災害が起こった際どのような被害が出るかを想定し、その対策をすること
県内に身内は問わず地域の事に詳しくないので、何かあった際どう行動すべきか助けてくれるようなシステム(アプリ)を希望
土砂災害や河川の氾濫の危険性がある場面での、どここの範囲までおよび、どこへまで避難すれば安全なのかを分かりやすく表示するようなデジタル技術向上への期待。
市役所等により 天候、降雨による水害、地震、の早期把握による避難 今もやっておられる防災無線の進化版など如何か(モニターなど)

19) 環境・自然

滋賀の地形を生かしたデジタル化が必要
歴史的な神社、寺など保存
地球規模に立った視点での環境、自然保全
保全にデジタルを活用して、人材不足を補う。
琵琶湖周辺や伊吹山などの豊かな自然の映像をリアルタイムで配信して、地域の自然に興味を持ってもらいたい。
琵琶湖のごみやレジャーによる被害の対策
豊かな自然を活用
滋賀県北部の立地を今以上に生かすためにも
季節ごとの自然の情報を得たい
各地森林や琵琶湖などの管理の更なるデジタル技術導入
車の走行騒音
写真を撮ってパソコンに入れる
除雪などの情報をタイムリーに受信できれば助かる

20) 公共交通

場所によっては交通に不便なところがあるので何とかして欲しい
デマンドタクシーをインターネットで予約できるようになる
運行情報の発信
電車の本数が減ったので将来が不安
もうすぐ免許を返納するので車が無くても住みよい町へ
タクシーの値下げ
運航状況のデジタル化
今後免許返納なら、病院スーパーなど交通アクセスが必要
ひき山等あるが日常の中で自家用車を一人一台持っており他県からの交通は不便だと思うしお勧めしにくい
バスの時刻表をわかりやすくしてほしい。ネットですぐわかるようになったら便利になるかな
高齢になり、自分で車の運転ができなくなると生活面で困るのでタクシーの配車等に期待する
リアルタイムの交通状況に合わせた信号の点灯時間の変更
おでかけワゴンを使って次の駅までに言ってバスに乗るのが面倒だと感じるので乗りやすくしてほしい
運転の無人化により、目的に合わせて気軽に外出ができるようになる
バスと電車の乗り継ぎがうまくいくといい 今のままじゃバスの利用者が増えない
デマンドタクシーなどの予約をスマホでできるようにしてほしい。また、公共の自動運転車を導入することで田舎でも過ごしやすいうように変えてほしい。
市内除雪エリアの情報共有化
リアルタイムの除雪状況の共有化
年配者がだんだん多くなり病院、買い物に不便をなくしてほしい
自動運転など高齢者の足となり事故、渋滞なども解消
人が乗っていないバスの運行が内容に必要な時に必要なところに走ってくれる公共交通があればよい
道路のデコボコを直してほしい
通院・買い物等のデマンド交通の連絡手段として
交通量の大小による最適化
免許返納に生活に支障が出ると考えられるので公共交通を考えてほしい
電車を利用しているのでいつも電車が遅れているとスマホをみるので、少しの遅れなどの情報を随時更新してほしい
正確なインフラ管理システム
共同乗り合いタクシーを老人のほうが利用しやすいようにネットで予約できるようになれば

デジタルの普及により交通事故ゼロの道路整備の期待
過疎地域での交通の利便性アップ
タクシーは相乗り効率よく配車して田舎から町中へ移動
バス、電車の自動支払い化
バスや電車の運行条項や到着予定時刻をスマホでリアルタイムに確認できるアプリやサイト
路線バスの走行位置、到着時刻がわかる
公共交通バス・タクシーのWEB予約や同行状況の確認など
バス・タクシーが市街地を走っているが鉄道も必要
身近な交通機関

2 1) 健康づくり

高齢者向けの健康づくり
活動量等の測定とデータの利活用
長浜市運営のジムとかあると良い
関係機関が情報を共存することで病気初期に対応できる
高齢化になるに筋肉とどのようにつけていくのか瞬時にわかるとよい
健康診断結果や、医療機関受診記録、服薬記録が一括管理できるアプリ
町ごとのスポーツ教室や事務を整備し、空き情報等を発信すると利用しやすい
テレビで見て覚えられる体操
家にも健康をサポート。異変にすぐ気づき AI に対応
その人に合ったトレーニングや食事などが簡単にわかるようになる
健康データ、現在の治療、保健づくりし指針が管理できる
個人情報とか関係なしすべての項目で健康チェックできるよう
地域健康サークル等がオンラインでメニューなどが選べる
自分のできる種別を簡単に調べられて便利になった
患者のデータを管理、共有
難しいことはわかりません 広く老若男女に伝わるように活用してほしい
地域版ヘルスケアアプリで健康ビッグデータの作成、分析、地域医療への活用
健康づくりとして健康寿命を伸ばすことが重要と様々な場所で耳にするのですが、それを伸ばすために何が充足し不足しているのかを可視化するためにもデジタル技術の活用が鍵になるのではないかと思います、健康づくりの分野の向上を期待します。
スマートウォッチで日々計測されるデータが蓄積され、かかりつけ医での受信に活かされるなど
健康の記録がデータとして残っていくと健康管理がしやすそう

2 2) その他

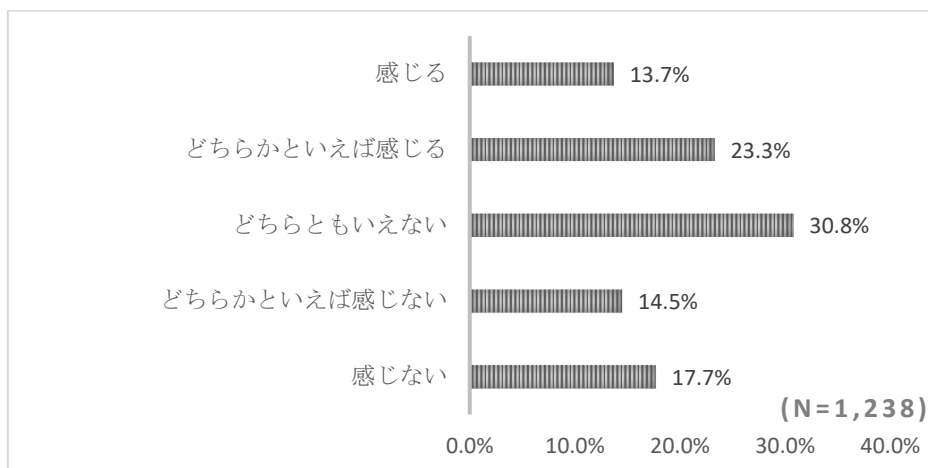
行政の効率化 簡素化
事故事件を長浜市全ての人に知ってほしい
0次検診など検診などの精進
あらゆる行政手続きをオンライン上で申請できるように求める（選挙もふくめて）
技術者の育成に注力し、地域特性を活かした方向に向かうべき
市役所の窓口の手続きをもっと便利に
デジタル化というよりアナログなことでもっと改善しなければならないことが多い様に思います
給付金などマイナンバーカードと金融機関を登録しているので活用して欲しい。毎回紙面で申請しているので。
デジタルはわかりひとにはいいけど年寄りには難しい
長浜市の情報を一つのアプリに集約して欲しい。

犬猫の保護活動
選挙 紙媒体ではなくパソコンで投票
サービスを受ける簡略化、いわゆる役所仕事の撲滅
子供たちが遊べる場所や、映画館、ドッグランを作してほしい
役所での手続きをスマホで出来るように
新しい家がたくさん建っていて皆さん幸せだなと思う
スマホで予約して車を希望する所まで行けたら
自治会の情報が有線放送の機械をつけて、流れてくる音声でしか取得できないのは困る。そういう部分こそデジタル技術でどこにいても知ることができる様にしてほしい。
地域行政。手続き、申請、会議など行政で簡略化出来ることは多い
行政の無駄な人件費の削減。それによる長浜市のイメージ向上
長浜市のデジタル通貨の導入
歴史文化財の市が所蔵する資料をアーカイブとして
デジタルの言葉はテレビや新聞で耳をするので勉強してみようと思う
デジタルの活用より対面が必要と感じる
長浜市のふるさと納税のhpが良くしてほしい
印鑑証明や住民票など自宅で公的書類が用意できると助かります
市役所などでしかできないネットでできるようにしてほしい。
水道事業に関して
上下水道代をクレジットカード決済対応にした方が良いと思います。

(2) デジタル技術が広がることによる不安について

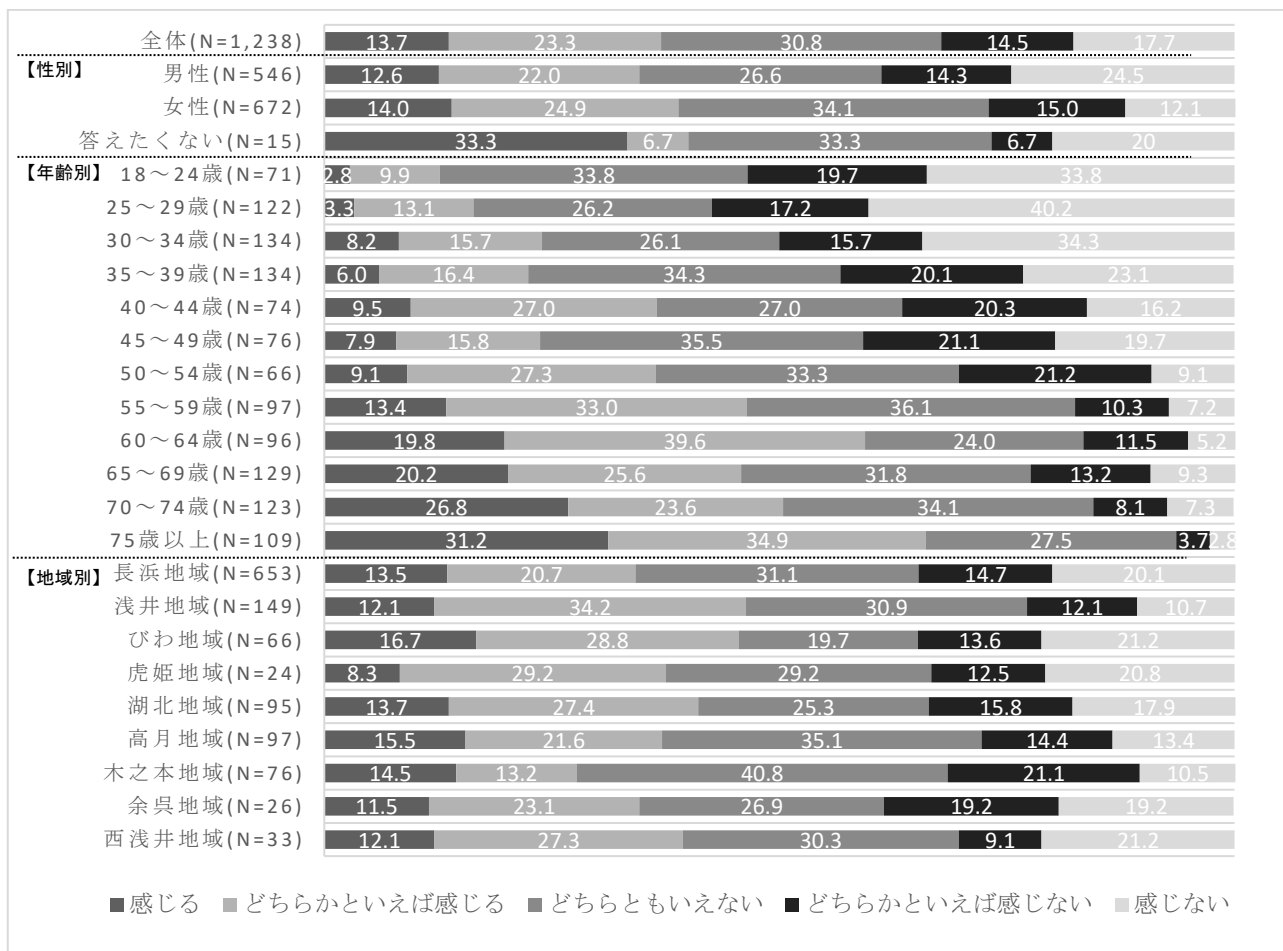
デジタル技術が広がっていくこと、当たり前になっていくことに不安を感じますか。あなた自身の気持ちに最も近いものを次の中から選んでください。（1つだけ☑）

- 「感じる」「どちらかといえば感じる」の合計が 37.0%、「感じない」「どちらかといえば感じない」の合計が 32.2%であった。



	選択肢	回答数	割合 (%)
1	感じる	169	13.7
2	どちらかといえば感じる	289	23.3
3	どちらともいえない	381	30.8
4	どちらかといえば感じない	180	14.5
5	感じない	219	17.7
	合計	1,238	100.0

図 2-22 デジタル技術が広がることによる不安



	回答数					有効回答数	構成比(%)					
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらともいえない	どちらかといえば感じない	感じない		感じる	どちらかといえば感じる	どちらともいえない	どちらかといえば感じない	感じない	
全体	169	289	381	180	219	1,238	13.7	23.3	30.8	14.5	17.7	
性別	男性	69	120	145	78	134	546	12.6	22.0	26.6	14.3	24.5
	女性	94	167	229	101	81	672	14.0	24.9	34.1	15.0	12.1
	答えたくない	5	1	5	1	3	15	33.3	6.7	33.3	6.7	20.0
	年齢別	18～24歳	2	7	24	14	24	71	2.8	9.9	33.8	19.7
	25～29歳	4	16	32	21	49	122	3.3	13.1	26.2	17.2	40.2
	30～34歳	11	21	35	21	48	134	8.2	15.7	26.1	15.7	34.3
	35～39歳	8	22	46	27	31	134	6.0	16.4	34.3	20.1	23.1
	40～44歳	7	20	20	15	12	74	9.5	27.0	27.0	20.3	16.2
	45～49歳	6	12	27	16	15	76	7.9	15.8	35.5	21.1	19.7
	50～54歳	6	18	22	14	6	66	9.1	27.3	33.3	21.2	9.1
	55～59歳	13	32	35	10	7	97	13.4	33.0	36.1	10.3	7.2
	60～64歳	19	38	23	11	5	96	19.8	39.6	24.0	11.5	5.2
	65～69歳	26	33	41	17	12	129	20.2	25.6	31.8	13.2	9.3
	70～74歳	33	29	42	10	9	123	26.8	23.6	34.1	8.1	7.3
	75歳以上	34	38	30	4	3	109	31.2	34.9	27.5	3.7	2.8
地域別	長浜地域	88	135	203	96	131	653	13.5	20.7	31.1	14.7	20.1
	浅井地域	18	51	46	18	16	149	12.1	34.2	30.9	12.1	10.7
	びわ地域	11	19	13	9	14	66	16.7	28.8	19.7	13.6	21.2
	虎姫地域	2	7	7	3	5	24	8.3	29.2	29.2	12.5	20.8
	湖北地域	13	26	24	15	17	95	13.7	27.4	25.3	15.8	17.9
	高月地域	15	21	34	14	13	97	15.5	21.6	35.1	14.4	13.4
	木之本地域	11	10	31	16	8	76	14.5	13.2	40.8	21.1	10.5
	余呉地域	3	6	7	5	5	26	11.5	23.1	26.9	19.2	19.2
	西浅井地域	4	9	10	3	7	33	12.1	27.3	30.3	9.1	21.2

図 2-23 デジタル技術が広がることによる不安

問2で、「1.感じる」「2.どちらかといえば感じる」と答えられた方におたずねします。
 どのようなことが不安ですか。不安を感じることを自由にご記入ください。

プライバシーが保たれるか
発展が早すぎて原理を理解するまでに利用のしやすさや便利さを享受できる方へ向かうことで、AIにも支配されかねないので十分注意を払わなければいけない
ついていけなくなる
使い方が自身 把握できるのか不安
人との接触が少なくなる
年を取るとあしこしがよわってきます。何かあった時の助けをしてほしい
昔のような人の交わりの愛がない クレジット詐欺等情けない
暗黙知の欠如による人間性の低下やコミュニケーション力の未熟さ、またそれらによる社会全体への弊害
手順が多いとおぼえられない
個人情報の流出。管理会社への不安。
情報発信に対応できるか。それを活用する能力が身につくか
市民向けの講座等学習する環境がほしい
便利な反面、わからないことがあった時の質問に答えてもらえないかもしれない。
逆に不便なことが起きないか不安
スマホパソコンでの生活ができない
個人情報の流出 情報弱者の拡大
ハッキングや災害により使用不能や流出の可能性があること
技術を使える人にだけ情報が入るようになると取り残される人が増える心配がある。画面の文字は見にくいなど体への負担もある。
人間同士の対話が良い
楽ばかりを好むような人が増えて苦勞をしない世の中になることが怖い。苦勞をして得るものの幸福感を味わえなくなるのではないか
高齢者やインターネット環境が無い方の対応が不安
世界中で何か大きなことが起きデータが消える様なことがあった場合。
ガラケーを使っている為不便
ネット等不慣れなひとにはむずかしい
噂が一人歩きしやすい
個人情報の漏洩 老人の孤立化
対応できない方へのケアがないまま 進んでいるように思える
セキュリティ対策の課題
リテラシーによる格差が生まれる。便利な反面、複雑さが増すスピードが早すぎる。
今若い人たちみたいにやれない。年代にもよるし大変だと思います。
どのような手段で入手できるか

デジタルに自分自身を全て管理される事は自分を支配されているようで怖い。ランク付けされそうで不快な気もする。
教育では子供のインターネットの使用に不安を感じる
全てが画面上で処理されることが優先されることの恐怖
パソコンスマホなどの機器を使いこなせない
今後の未来が想像できない
アナログ人間なので静かに生活したい
AIの普及が今後どのように活用されていくのか不安である
特定の機械、外国製ソフトの使用強制、情報管理の脆弱性
学校からipadの支給で勉強する考えは素晴らしいものだと思いますが、逆に先生の効率アップ宿題で出る問題も枠がすくなく書き込めず、答えが×になる。子どもたちを一番に考えていただきたい。
思考力の低下、犯罪の増加、老人たちがついていきにくい
悪いことに使う人が必ず出てくる。その対策が追いつくものなのか心配です。
高齢者など、デジタル化の扱いに慣れないものを取り残されていくのではないか。健康面や脳の発達への弊害がないか不安。
便利になるとその分人は頭を使えなくなり衰える。災害などが増えている今、電気が止まった時など、すべてデジタルに頼っているとそれが使えない時どうなるのか。
どこでもセルフ式なので理解することが困難
AI等導入するための費用や、コンピューターによる情報漏洩、私は高齢者で詳しいことはわかりませんが、古来の文化、人間性を失いたくありません。デジタル化によって字の書けない人も増えてきたように思えます。残念です。
人間の生活が豊かになっていくことはよいことだが今後デジタル化・電子化が進んでいって非常にほとんどの生活ラインが止まってしまった際に最終的には人間が考え行動していかなければいけないため、便利だけが良いとは思えません。また、早今デジタル技術の参入により働き手が人間から機械へ変わっていくことは今後の就労問題へとつながる日本全体の課題だと思います。
情報の取り合い、動くことが少なくなることによる健康への悪影響
匿名性が高まることで我欲むき出しの社会になること
仕事を失う人が増えるのではないか
映画の世界が現実になるのでは。AIの暴走、テロ
デジタル化が進んで大変便利で世の中のことも多く知れる様にはなりましたが、その反面思いがけない犯罪や悲しいことが増えてきて、情が薄い世の中に代わっているように思える。不憫な生活の中に人間の知恵が生まれるように思います。
災害時や停電に対応しているのか、悪用されないための対策はしているのか
使い方を誤ったり依存しすぎると人間がだめになる。開業する側か目的を明確にしないと税金の無駄遣い
何にでもデジタル化となり暗証番号などたくさんでややこしい
子どもへの影響 子どもには実際に五感を使って体験する機会をもっと多く持ってほしい
買い物の会計がしにくい、時刻表などが手元にないので人に頼んで調べてもらわないと出かけられない
調べることが楽になったり出来るようになった分、すぐに調べてしまうようになった。漢字が書けなくなったりして辞書をひいたり本を読むことがなくなった。
デジタル技術に精通していないことで、受けられないサービスができそうだから。
犯罪に巻き込まれる機会が増えるのではないか（詐欺など）、何か問題が生じた時、デジタル機器に強い人が近所・家族・市民にいて相談に乗ってくれると良いのですが

カタカナ意味がわからない。カタカナ用語が多すぎる
紙などの現物で管理しなければならないものとの区別が難しい
デジタルは苦手。高齢者にも教えてくれる場所があるならありがたいが、、
アップデートにより機種が使えなくなる
デジタル技術が広がると様々な方向性からあらゆる地域発展にもつながり住みよく、観光客にも楽しんでもらえると思う
誤った情報があまりにも流れすぎ
機器の更新など費用がかかる